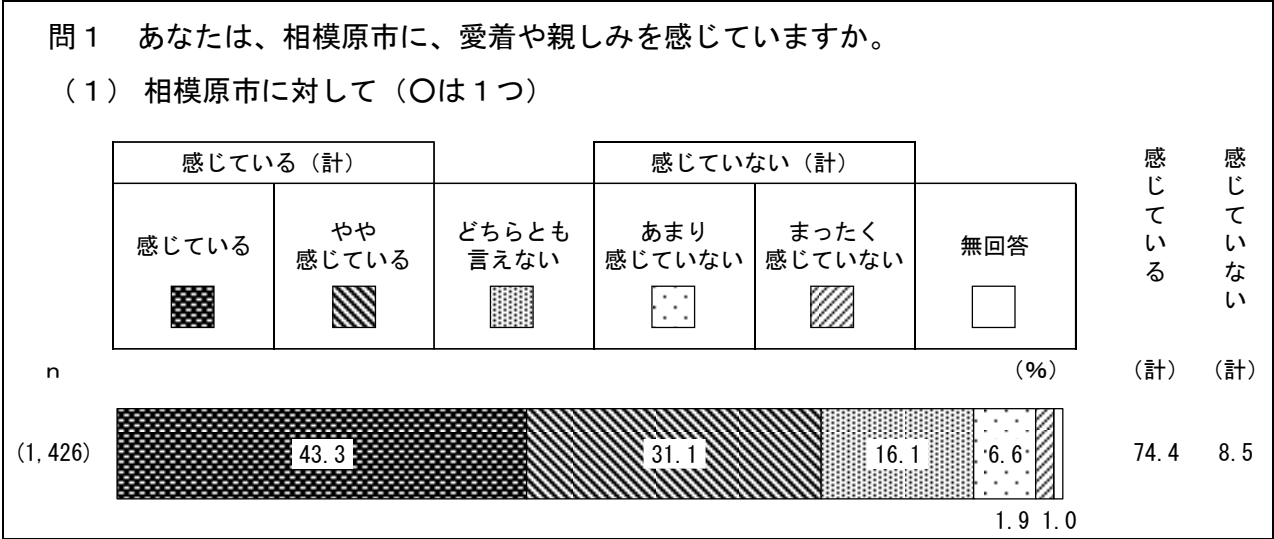


### Ⅲ 調査結果

#### 1 市や区に対する愛着や定住意識について

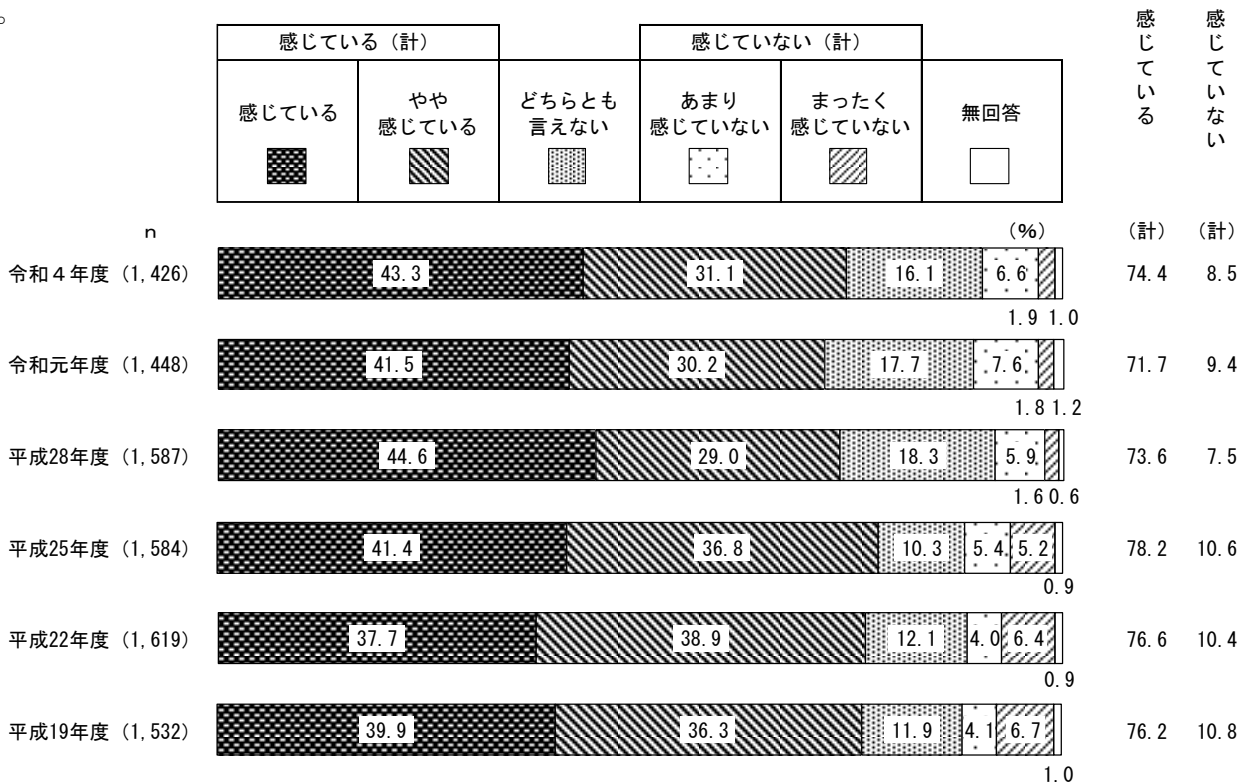
##### (1) 相模原市に対する愛着



相模原市に対して愛着や親しみを感じているかたずねたところ、「感じている」(43.3%)と「やや感じている」(31.1%)の2つを合わせた《感じている(計)》(74.4%)は7割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」(6.6%)と「まったく感じていない」(1.9%)の2つを合わせた《感じていない(計)》(8.5%)は1割に満たない。

##### <経年比較> 《感じている(計)》(「感じている」+「やや感じている」)

過去の調査結果と比較すると、《感じている(計)》は令和元年度より2.7ポイント増加している。

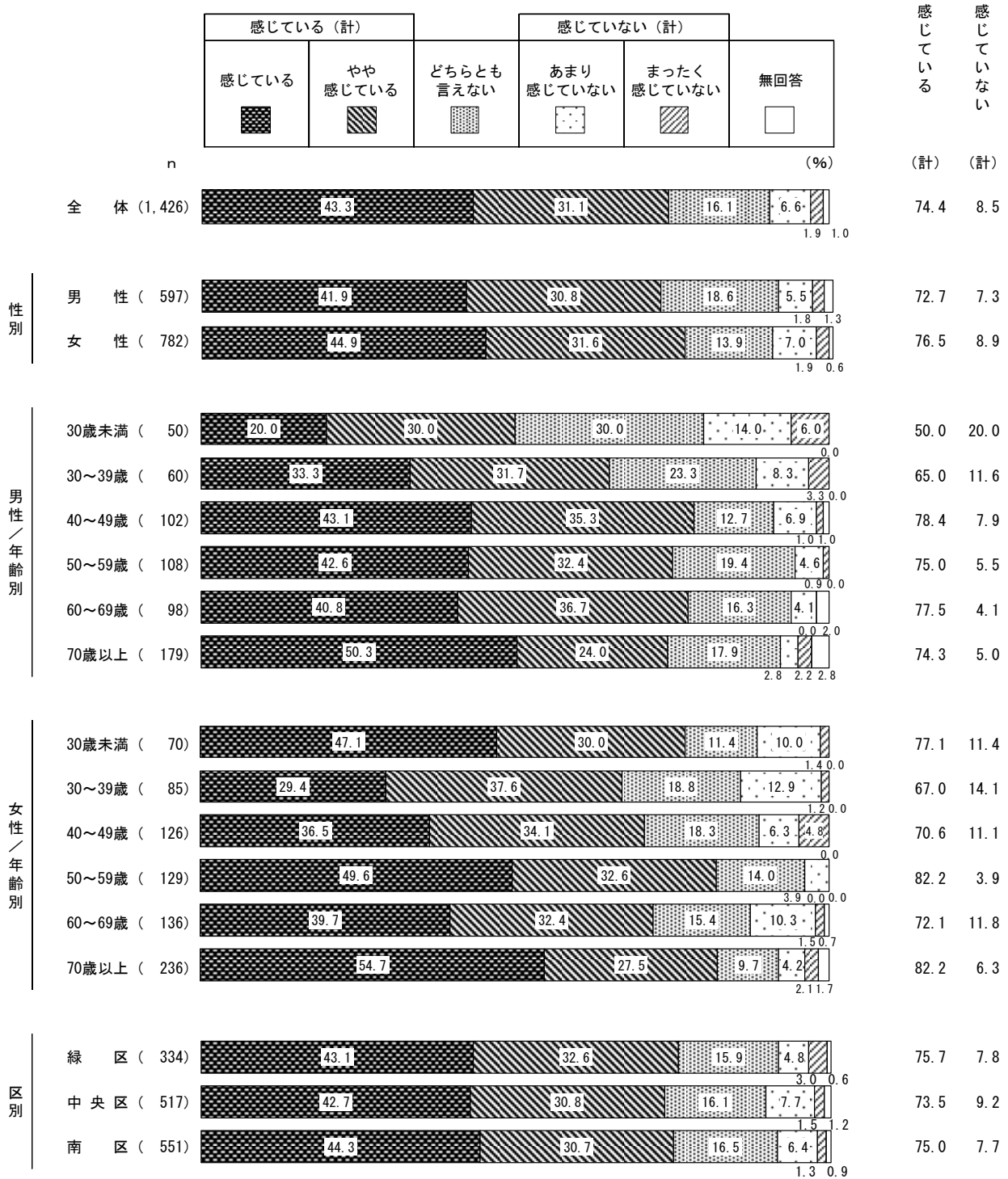


<性別・性／年齢別・区別結果>

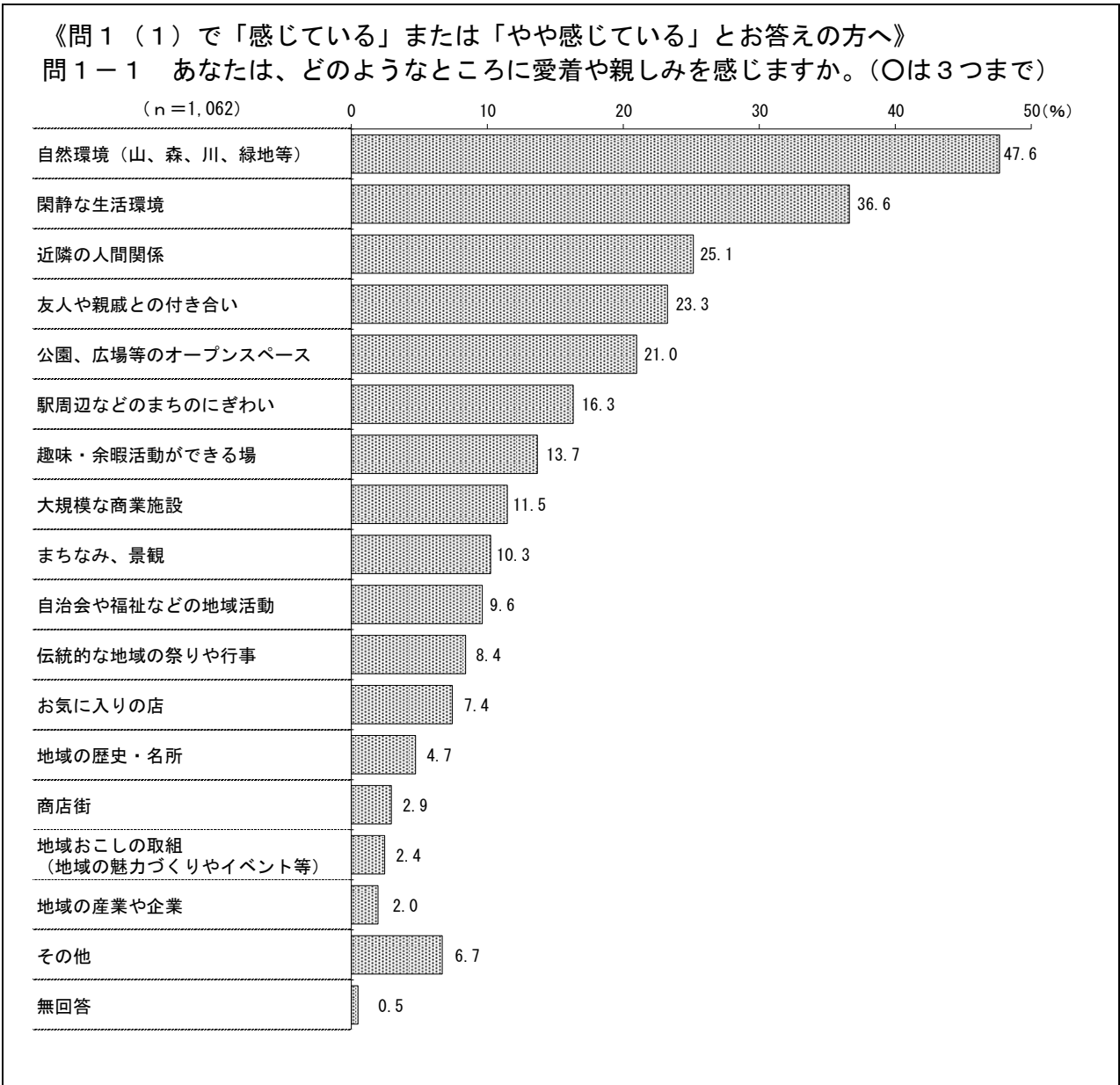
性別でみると、《感じている（計）》は女性が男性より3.8ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、《感じている（計）》は女性50～59歳、70歳以上が最も高く、8割を超えている。一方、《感じていない（計）》は男性30歳未満が最も高く2割となっている。

区別で見ると、《感じている（計）》は全ての区が7割を超えて、高くなっている。



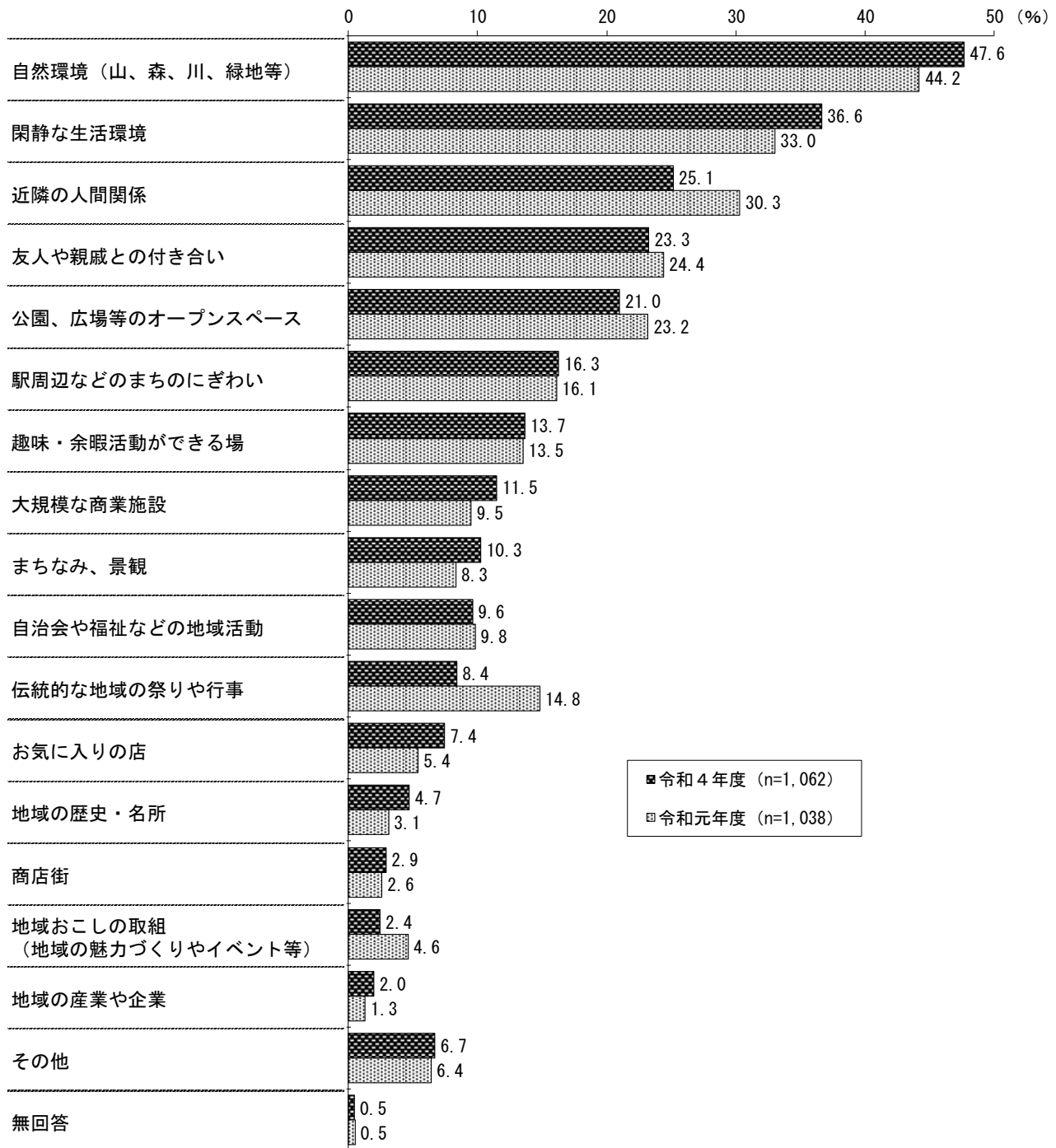
(1-1) 相模原市に愛着や親しみを感じるどころ



相模原市に対して愛着や親しみを「感じている」または「やや感じている」と答えた方に、どのようなところに愛着や親しみを感じているかたずねたところ、「自然環境 (山、森、川、緑地等)」(47.6%)が4割半ばを超えて最も高く、次いで、「閑静な生活環境」(36.6%)、「近隣の人間関係」(25.1%)、「友人や親戚との付き合い」(23.3%)、「公園、広場等のオープンスペース」(21.0%)と続いている。

<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、「閑静な生活環境」は令和元年度より3.6ポイント増加している。一方、「近隣の人間関係」は令和元年度より5.2ポイント減少している。



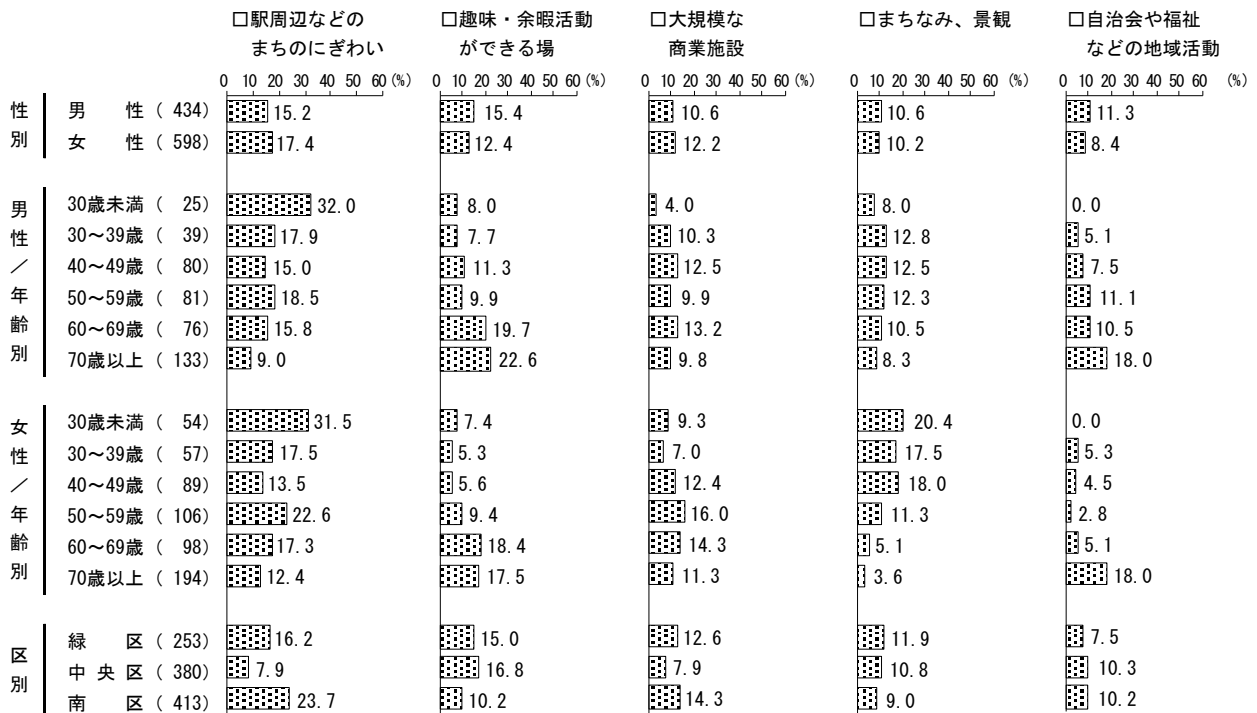
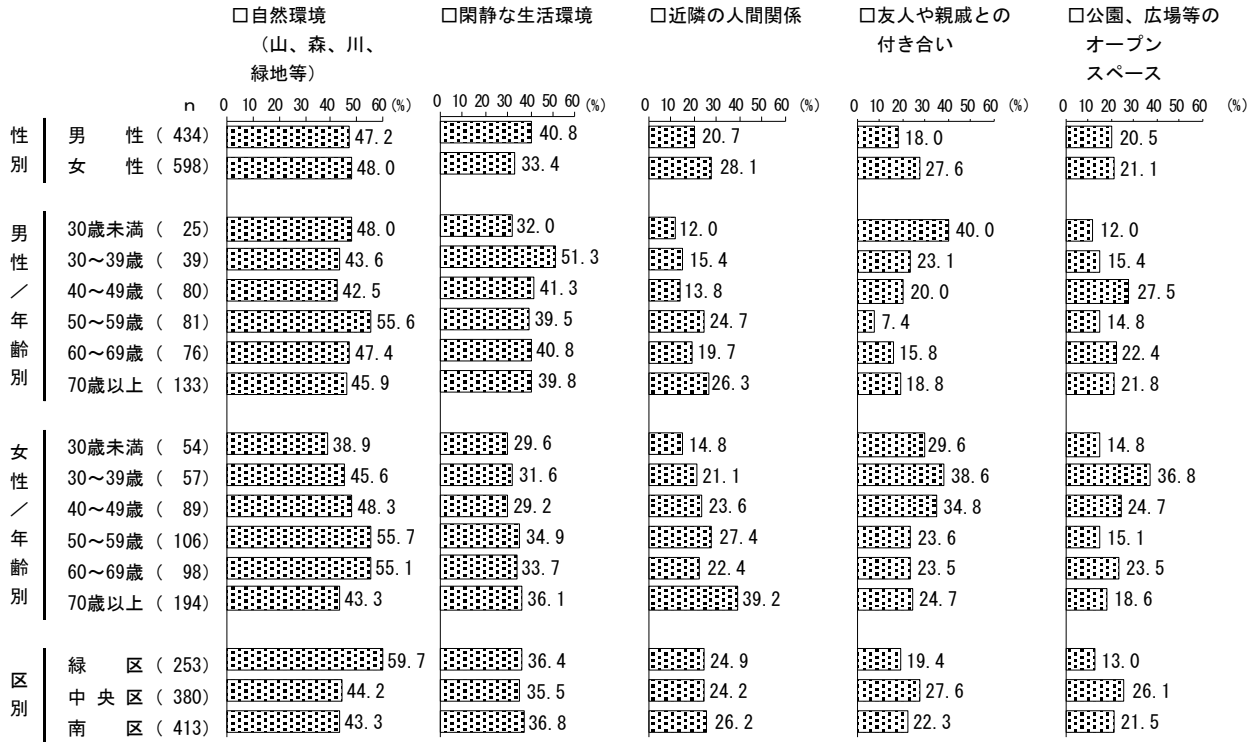


<性別・性／年齢別・区別結果> (上位10項目)

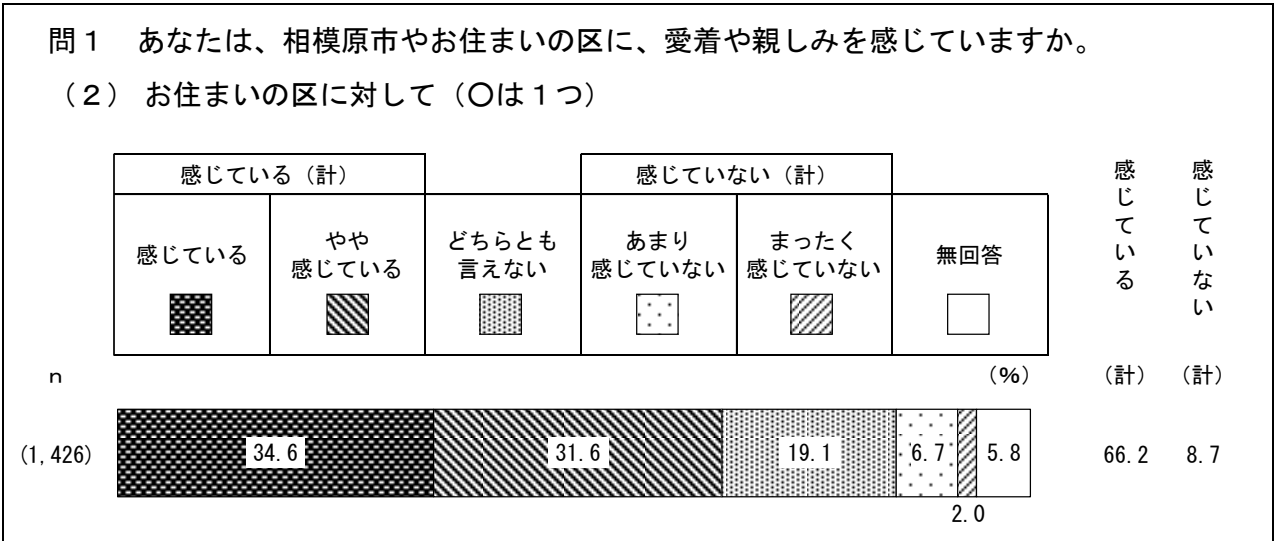
性別でみると、「近隣の人間関係」で7.4ポイント、「友人や親戚との付き合い」で9.6ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。一方、「閑静な生活環境」では、7.4ポイント、男性が女性より高くなっている。

性／年齢別でみると、「閑静な生活環境」は男性30～39歳で5割を超えている。「友人や親戚との付き合い」は男性30歳未満で4割と高くなっている。

区別でみると、「自然環境(山、森、川、緑地等)」は緑区で6割近くと高くなっている。「閑静な生活環境」は全ての区で3割半ばを超え、高くなっている。



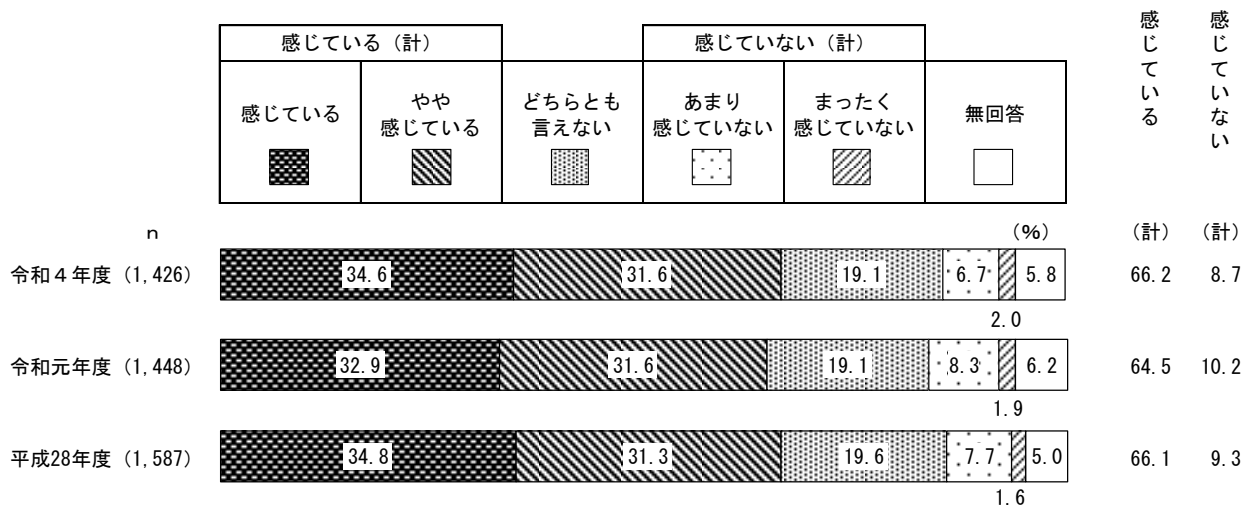
(2) 居住している区に対する愛着



相模原市やお住まいの区に対して愛着や親しみを感じているかたずねたところ、「感じている」(34.6%)と「やや感じている」(31.6%)の2つを合わせた《感じている(計)》(66.2%)は6割半ばを超えている。一方、「あまり感じていない」(6.7%)と「まったく感じていない」(2.0%)の2つを合わせた《感じていない(計)》(8.7%)は1割に満たない。

<経年比較> 《感じている(計)》(「感じている」+「やや感じている」)

過去の調査結果と比較すると、《感じている(計)》は令和元年度より1.7ポイント増加している。

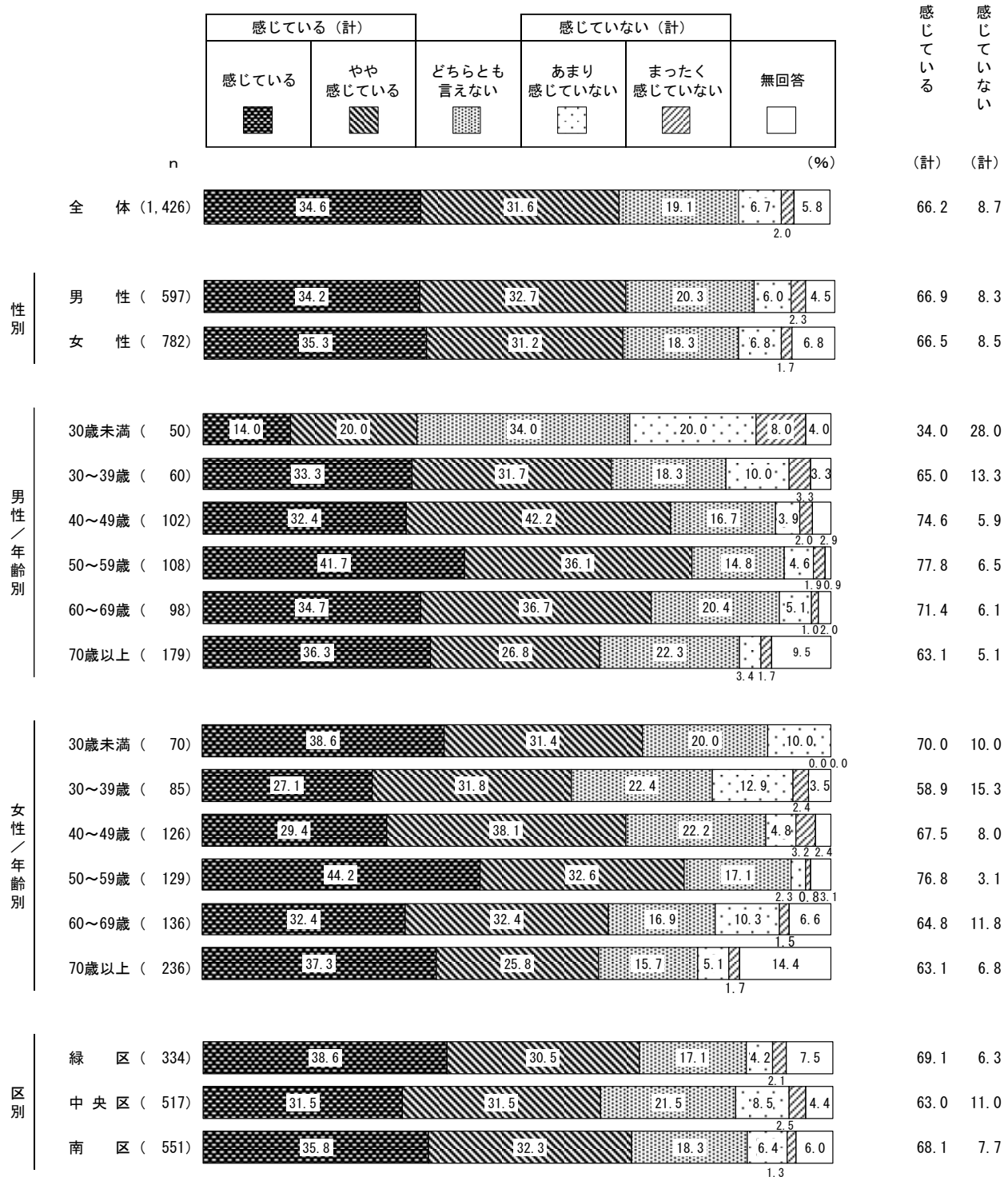


<性別・性／年齢別・区別結果>

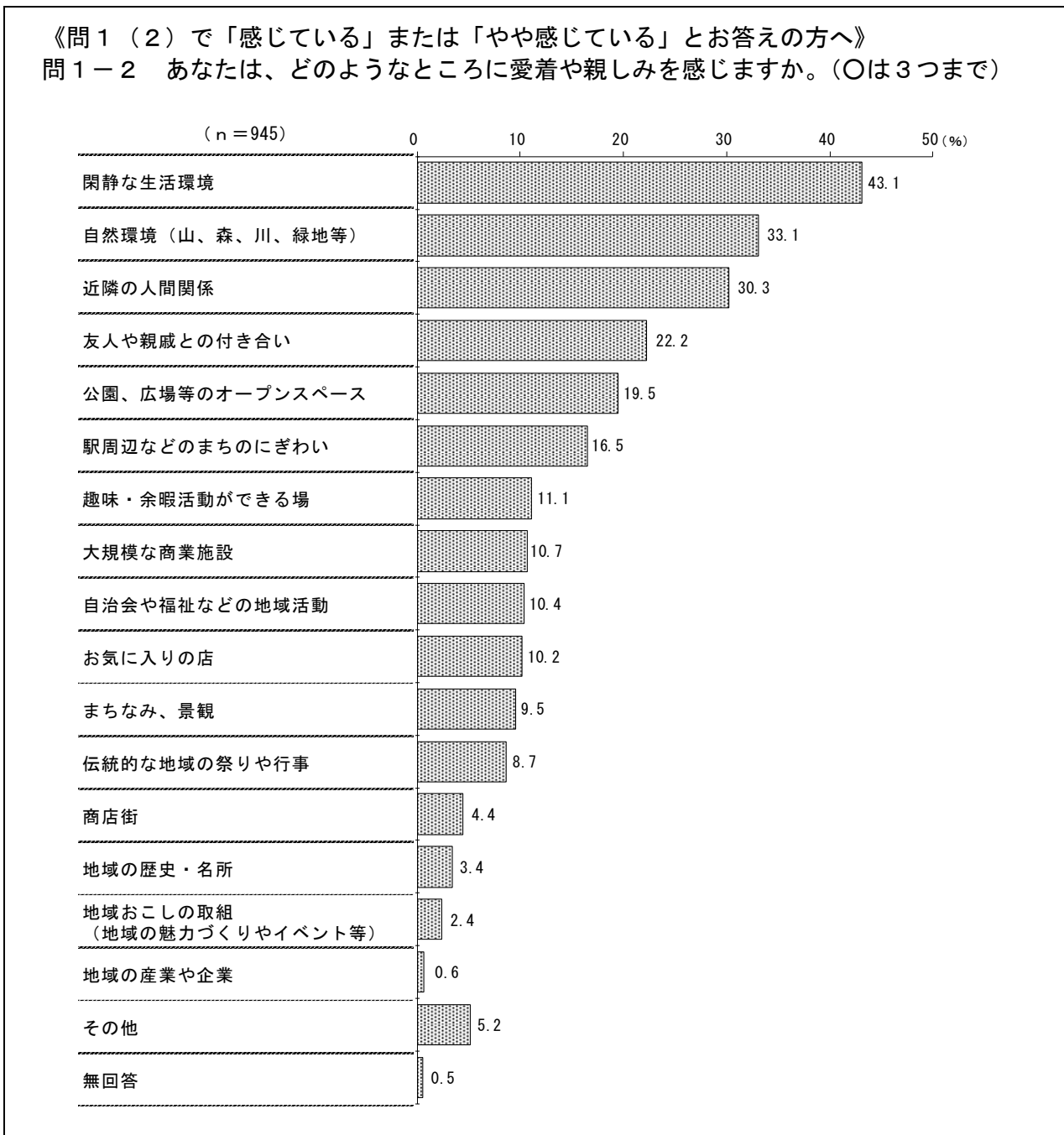
性別でみると、大きな違いは見られない。

性／年齢別でみると、《感じている（計）》は男性50～59歳が最も高く、7割半ばを超えている。一方、《感じていない（計）》は男性30歳未満が最も高く3割近くとなっている。

区別で見ると、《感じている（計）》は緑区が最も高く7割近くとなっている。



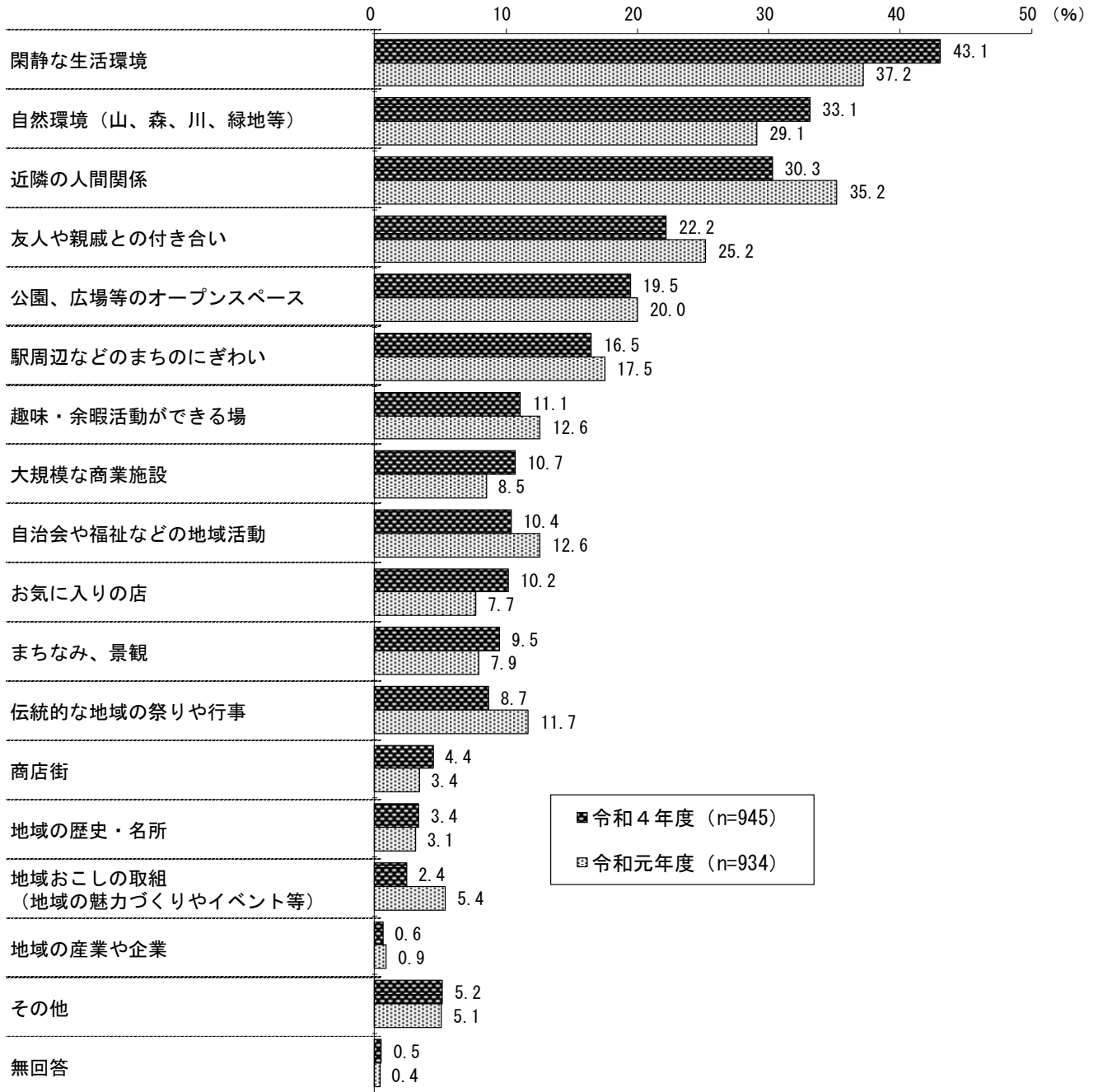
(2-1) 居住している区に愛着や親しみを感じるどころ



お住まいの区に対して愛着や親しみを「感じている」または「やや感じている」と答えた方に、どのようなところに愛着や親しみを感じているかたずねたところ、「閑静な生活環境」(43.1%)が4割を超えて最も高く、次いで、「自然環境(山、森、川、緑地等)」(33.1%)、「近隣の人間関係」(30.3%)、「友人や親戚との付き合い」(22.2%)と続いている。

<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、「閑静な生活環境」は令和元年度より5.9ポイント増加している。一方、「近隣の人間関係」は令和元年度より4.9ポイント減少している。

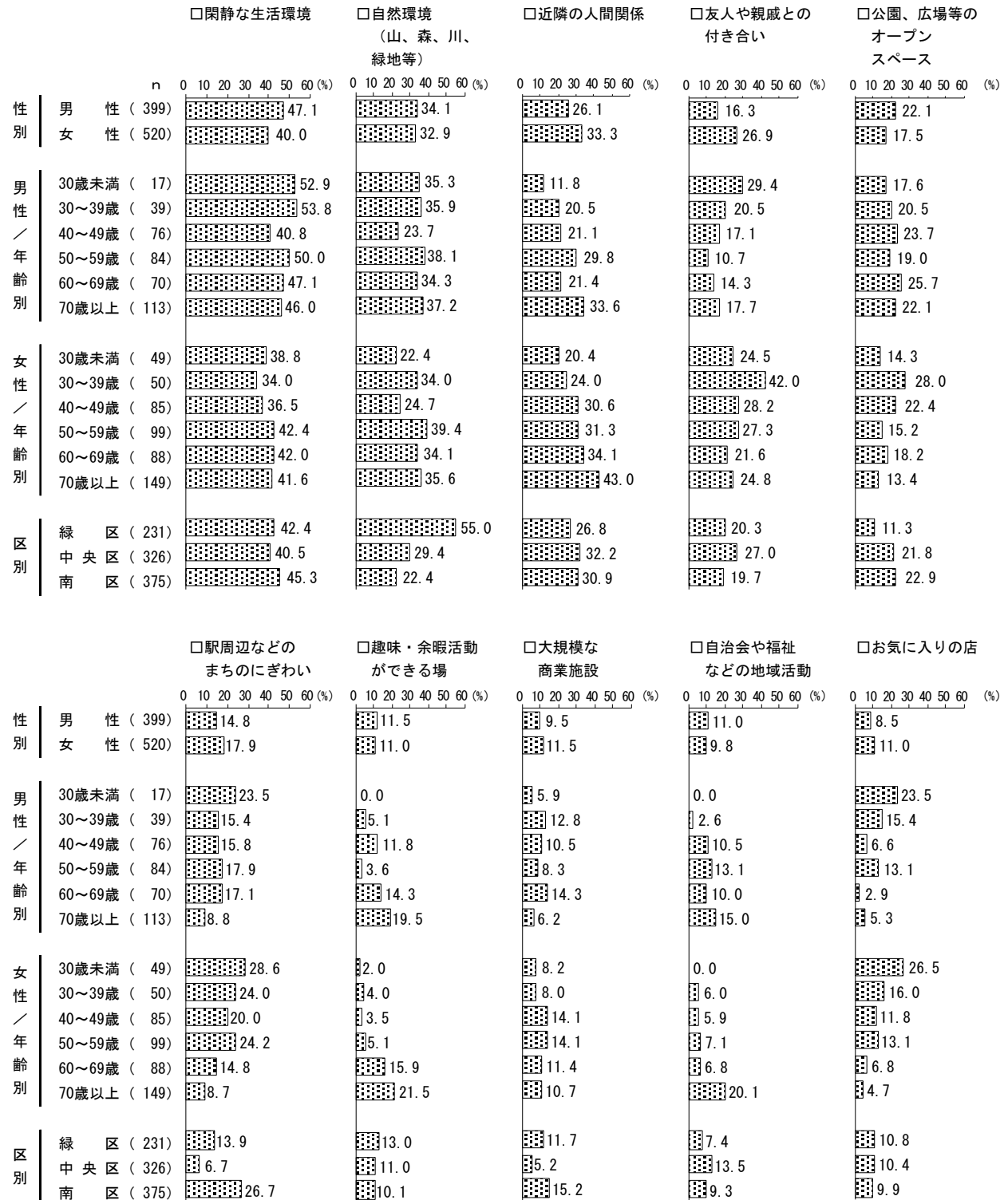


<性別・性／年齢別・区別結果> (上位10項目)

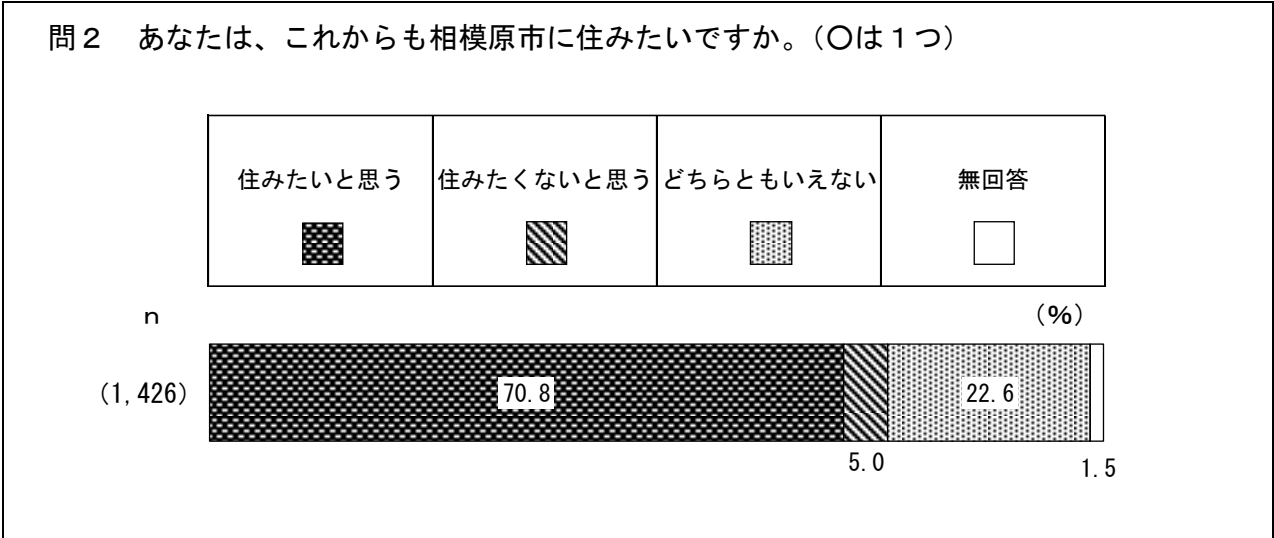
性別で見ると、「友人や親戚との付き合い」で10.6ポイント、「近隣の人間関係」で7.2ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。一方、「閑静な生活環境」で7.1ポイント、「公園、広場等のオープンスペース」で4.6ポイント、それぞれ男性が女性より高くなっている。

性／年齢別で見ると、「閑静な生活環境」は男性30～39歳、男性30歳未満、男性50～59歳で5割を超えている。「近隣の人間関係」は女性70歳以上で4割を超え、高くなっている。

区別で見ると、「自然環境(山、森、川、緑地等)」は緑区で5割を超え、高くなっている。「閑静な生活環境」は全ての区で4割を超え、高くなっている。



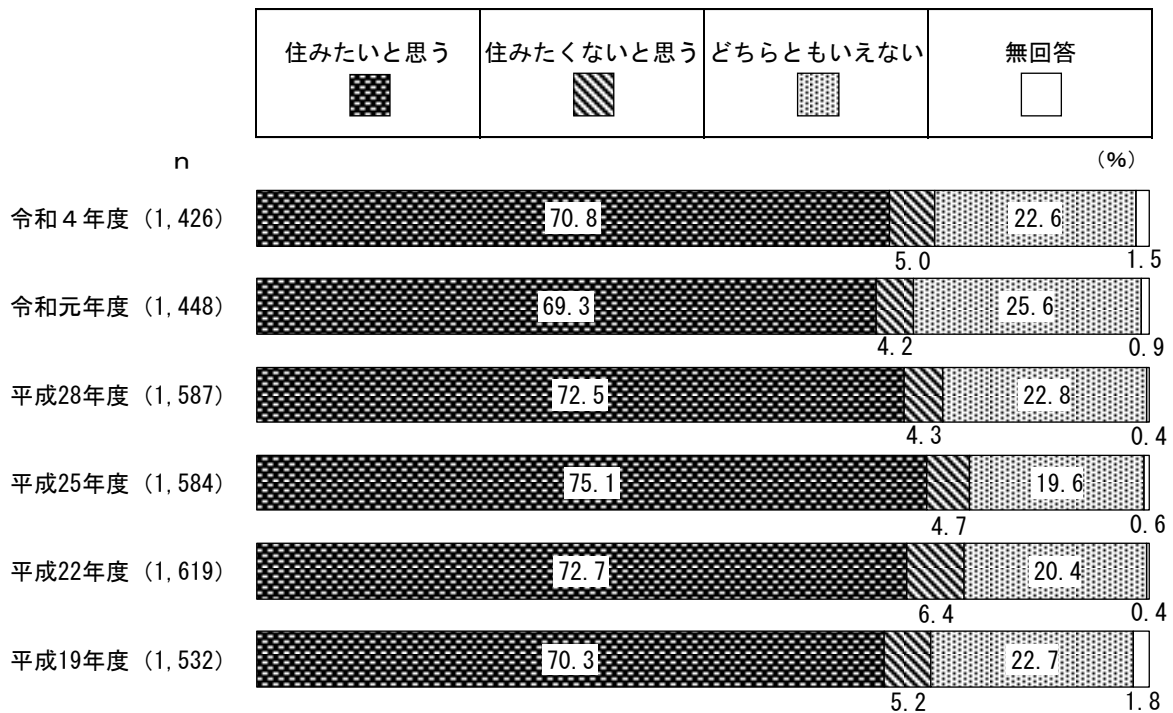
(3) 定住意向



これからも相模原市に住みたいかたずねたところ、「住みたいと思う」(70.8%)が7割を超えている。一方、「住みたくないと思う」(5.0%)は1割に満たない。

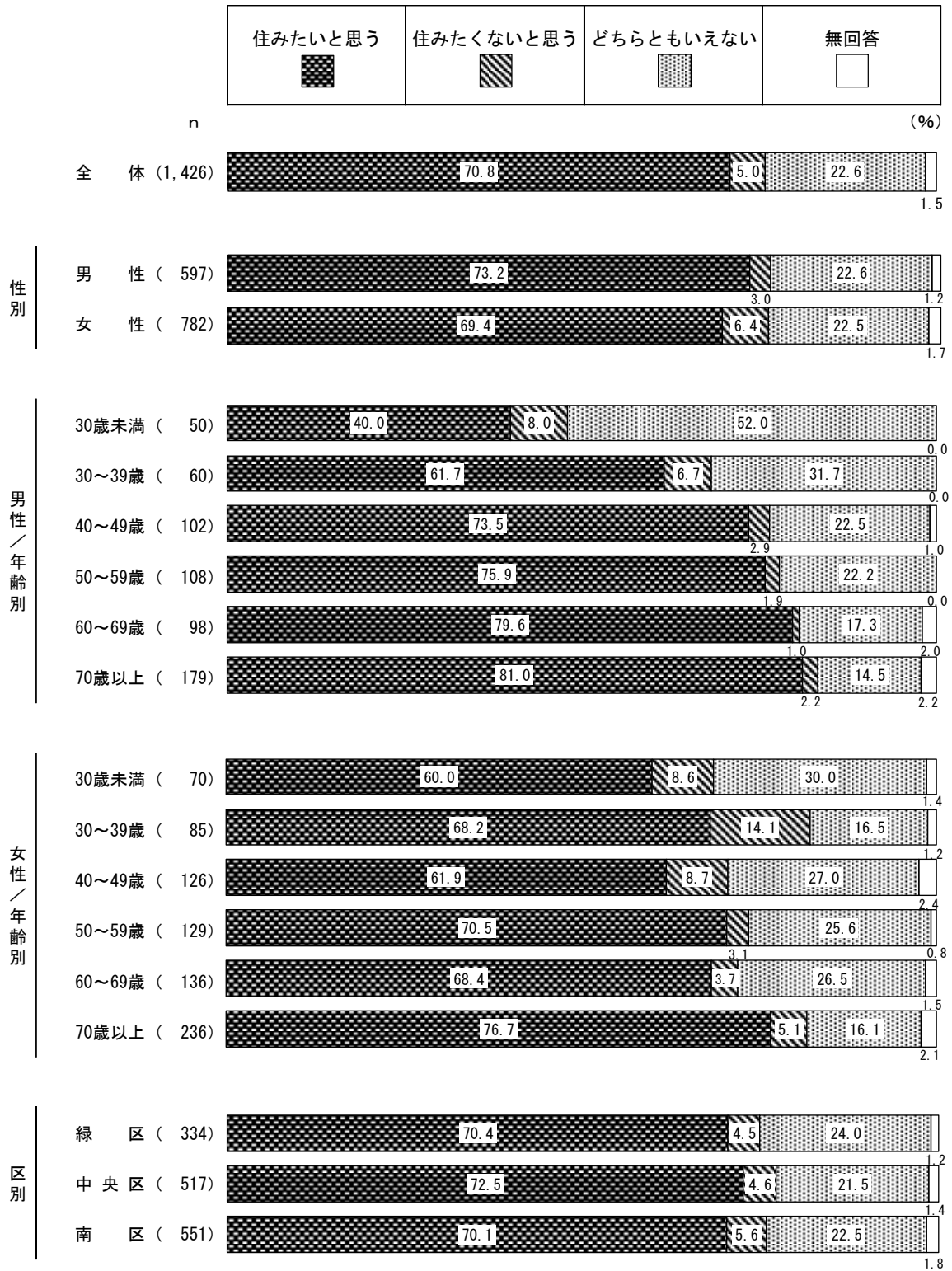
<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、「住みたいと思う」は平成25年以降減少傾向となっていたが、令和4年度は令和元年度より1.5ポイント増加している。



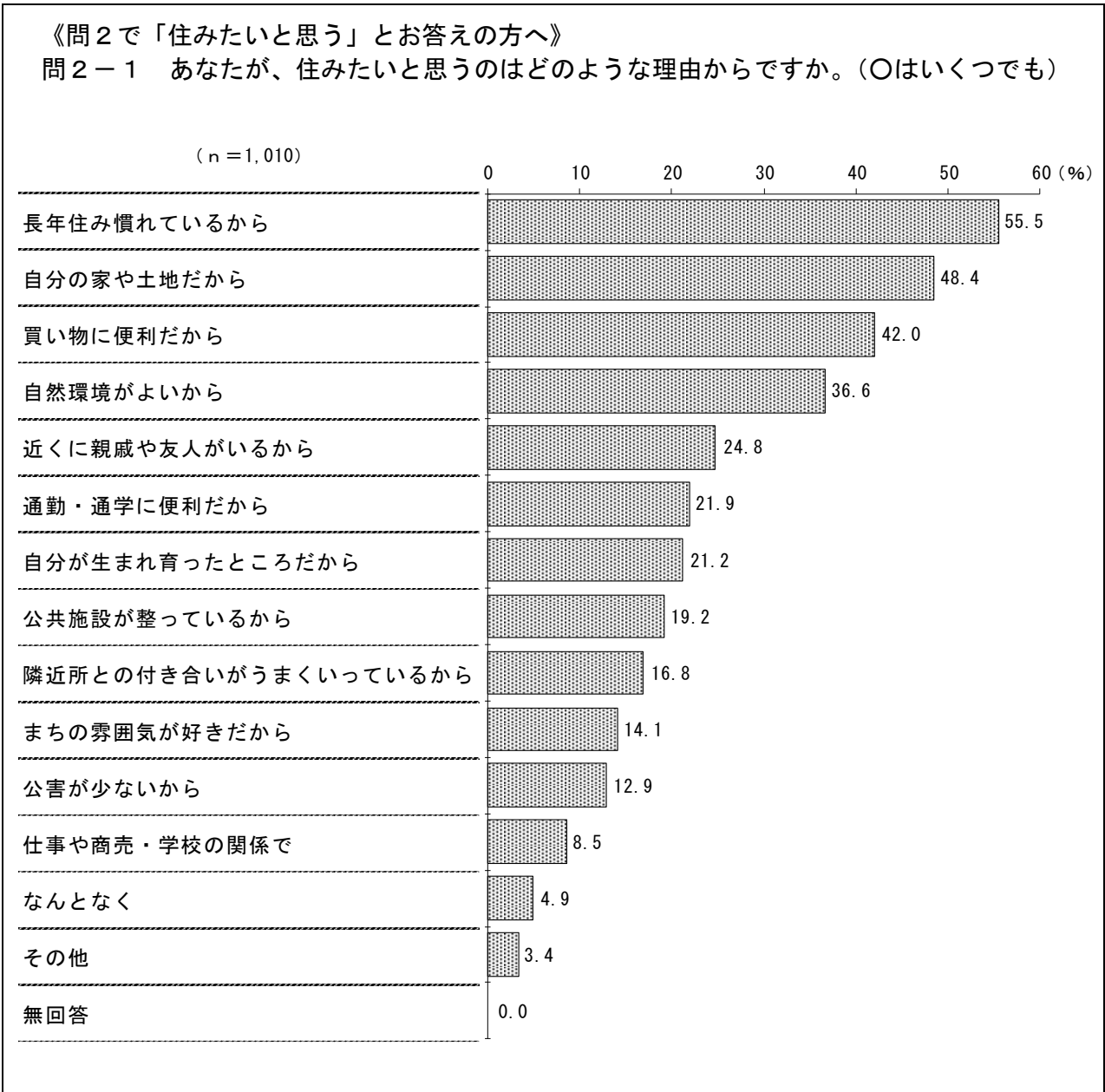
<性別・性／年齢別・区別結果>

性別で見ると、「住みたいと思う」は3.8ポイント、男性が女性より高くなっている。  
 性／年齢別で見ると、「住みたいと思う」は男性70歳以上で8割を超え、高くなっている。  
 区別で見ると、「住みたいと思う」は全ての区で7割を超えて高くなっている。





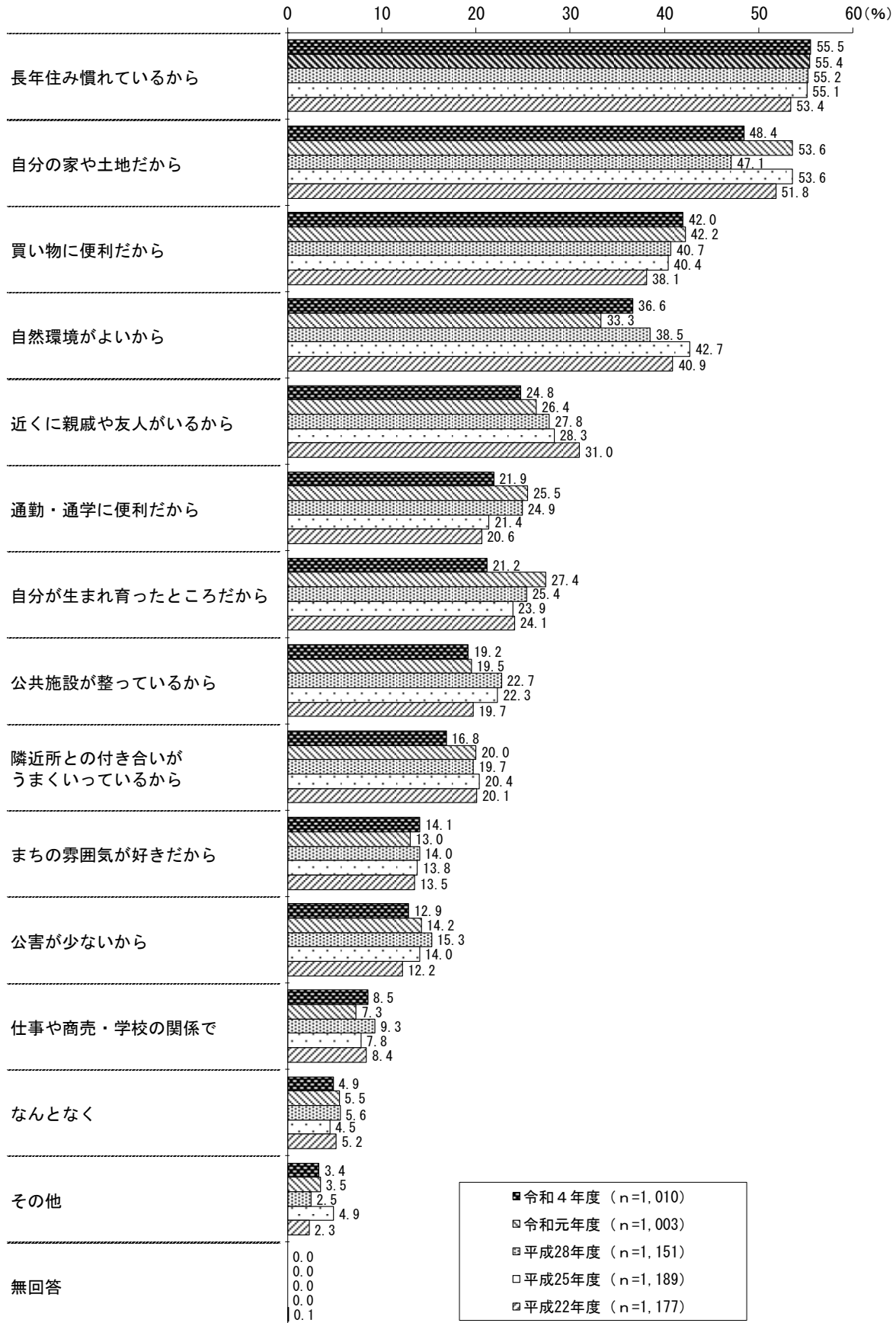
(3-1) 定住したい理由



これからも相模原市に「住みたいと思う」と答えた方に、どのような理由からかたずねたところ、「長年住み慣れているから」(55.5%)が5割半ばで最も高く、次いで、「自分の家や土地だから」(48.4%)、「買い物に便利だから」(42.0%)、「自然環境がよいから」(36.6%)、「近くに親戚や友人がいるから」(24.8%)と続いている。

<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、「自然環境がよいから」は令和元年度より3.3ポイント増加している。一方、「自分が生まれ育ったところだから」は令和元年度より6.2ポイント、「自分の家や土地だから」は令和元年度より5.2ポイント、それぞれ減少している。

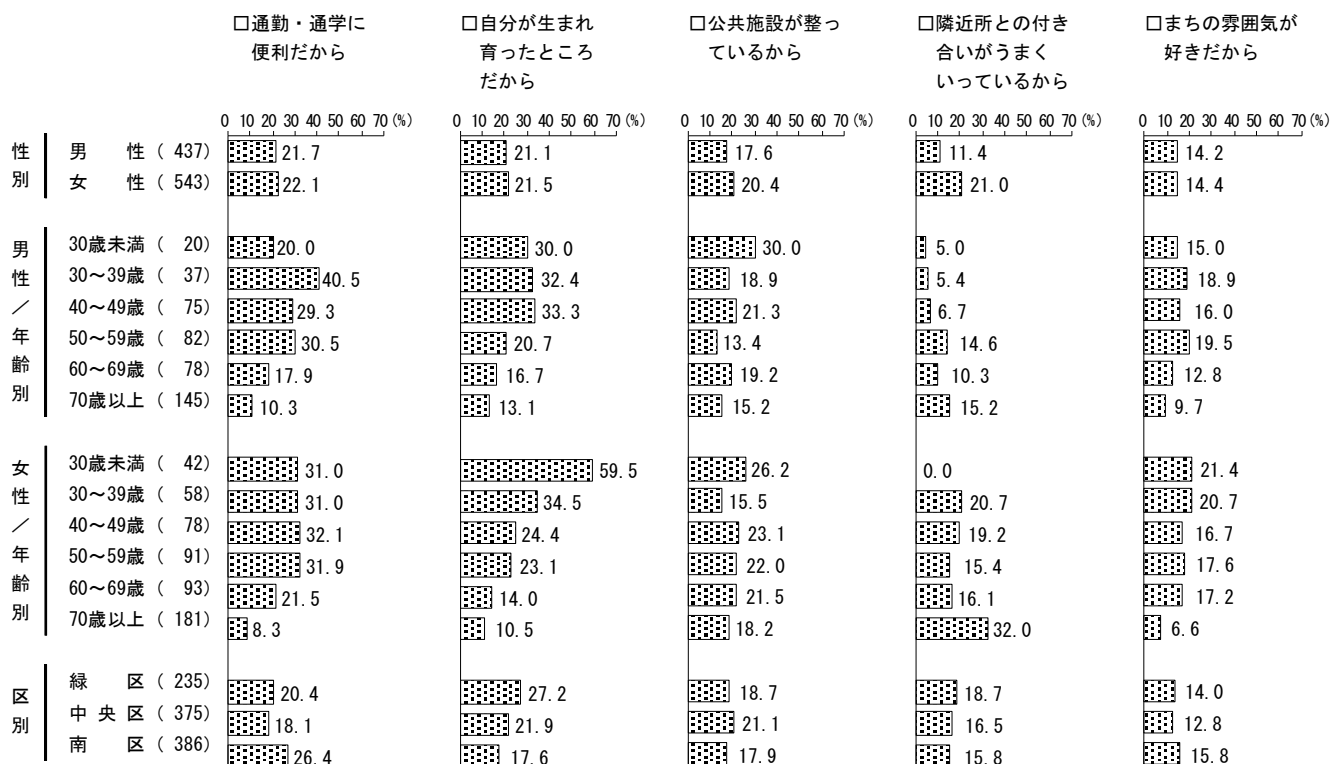
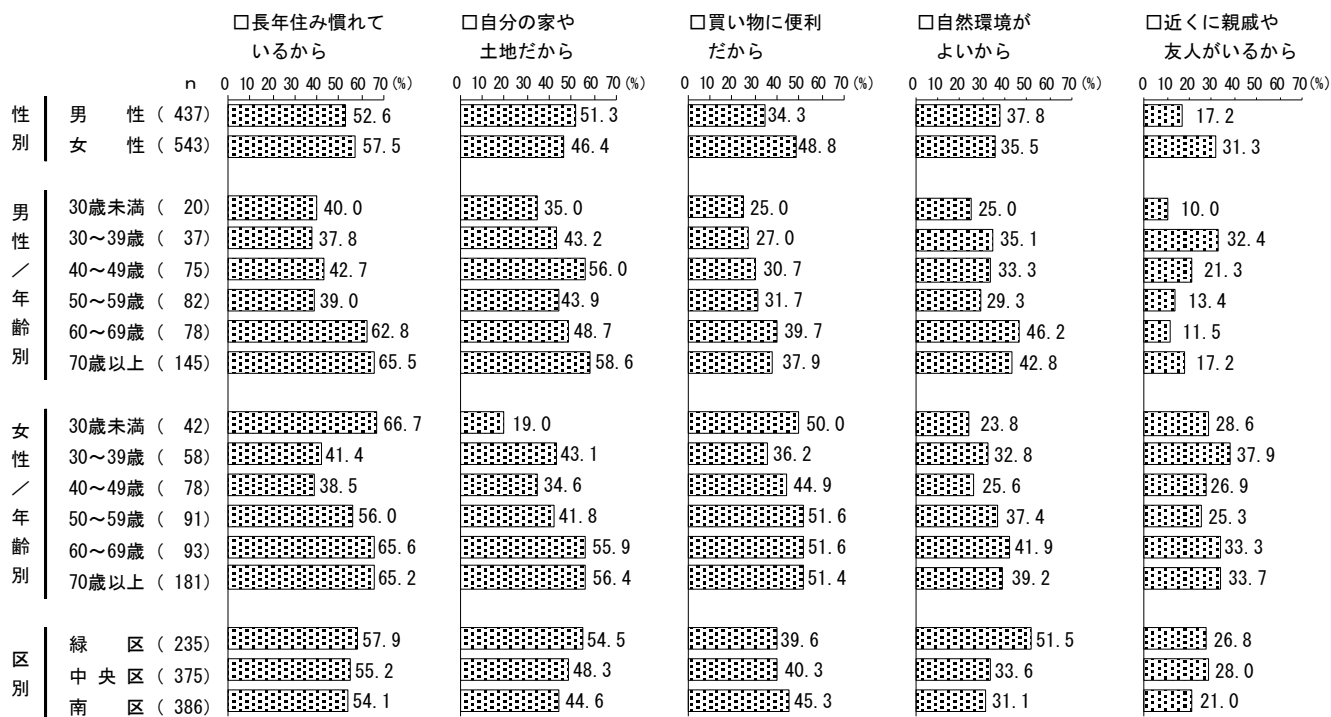


<性別・性／年齢別・区別結果> (上位10項目)

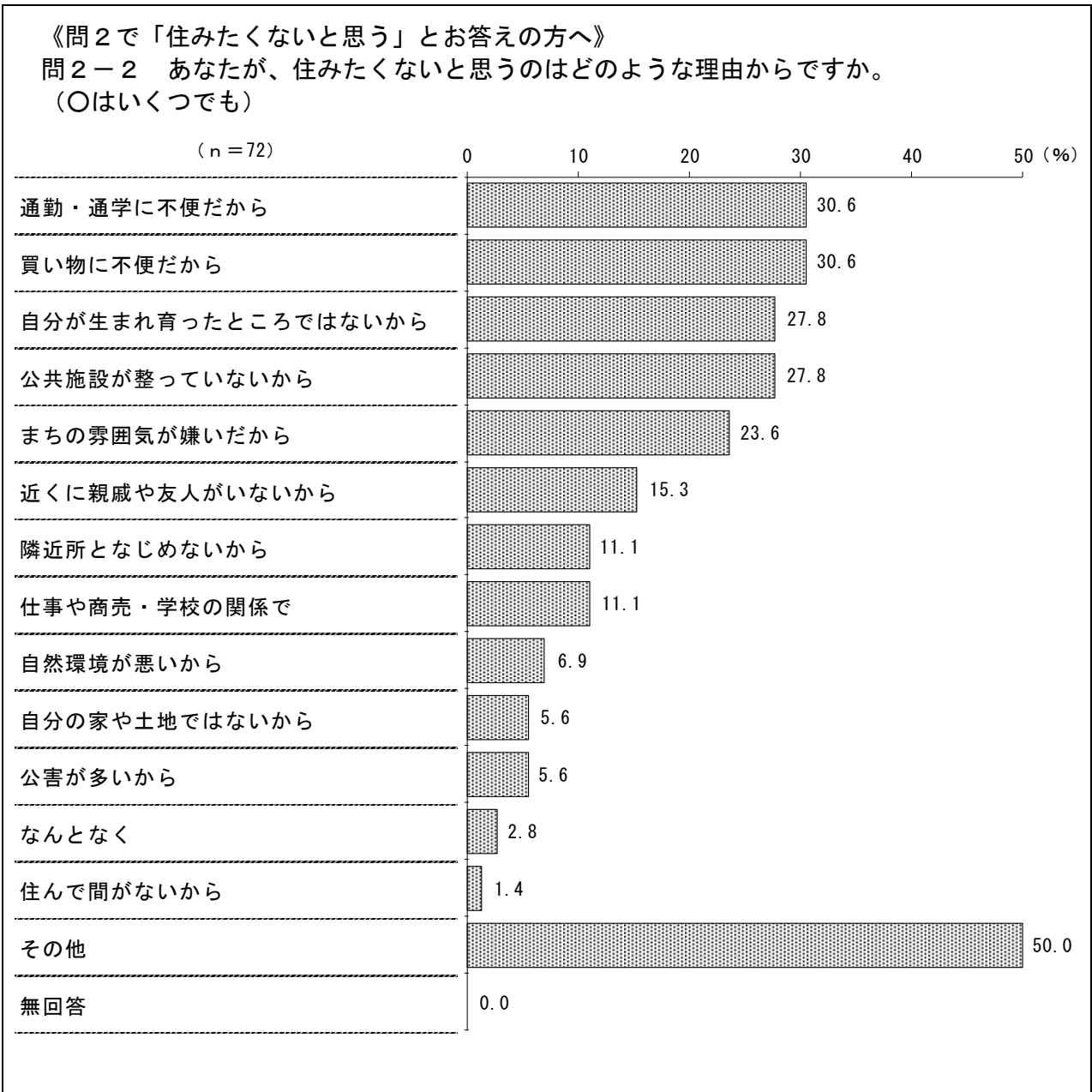
性別で見ると、「買い物に便利だから」で14.5ポイント、「近くに親戚や友人がいるから」で14.1ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。一方、「自分の家や土地だから」では、4.9ポイント、男性が女性より高くなっている。

性／年齢別で見ると、「長年住み慣れているから」は女性30歳未満、女性60～69歳、男性70歳以上、女性70歳以上で6割半ばを超え、高くなっている。

区別で見ると、やはり「長年住み慣れているから」は全ての区で5割を超え、高くなっている。



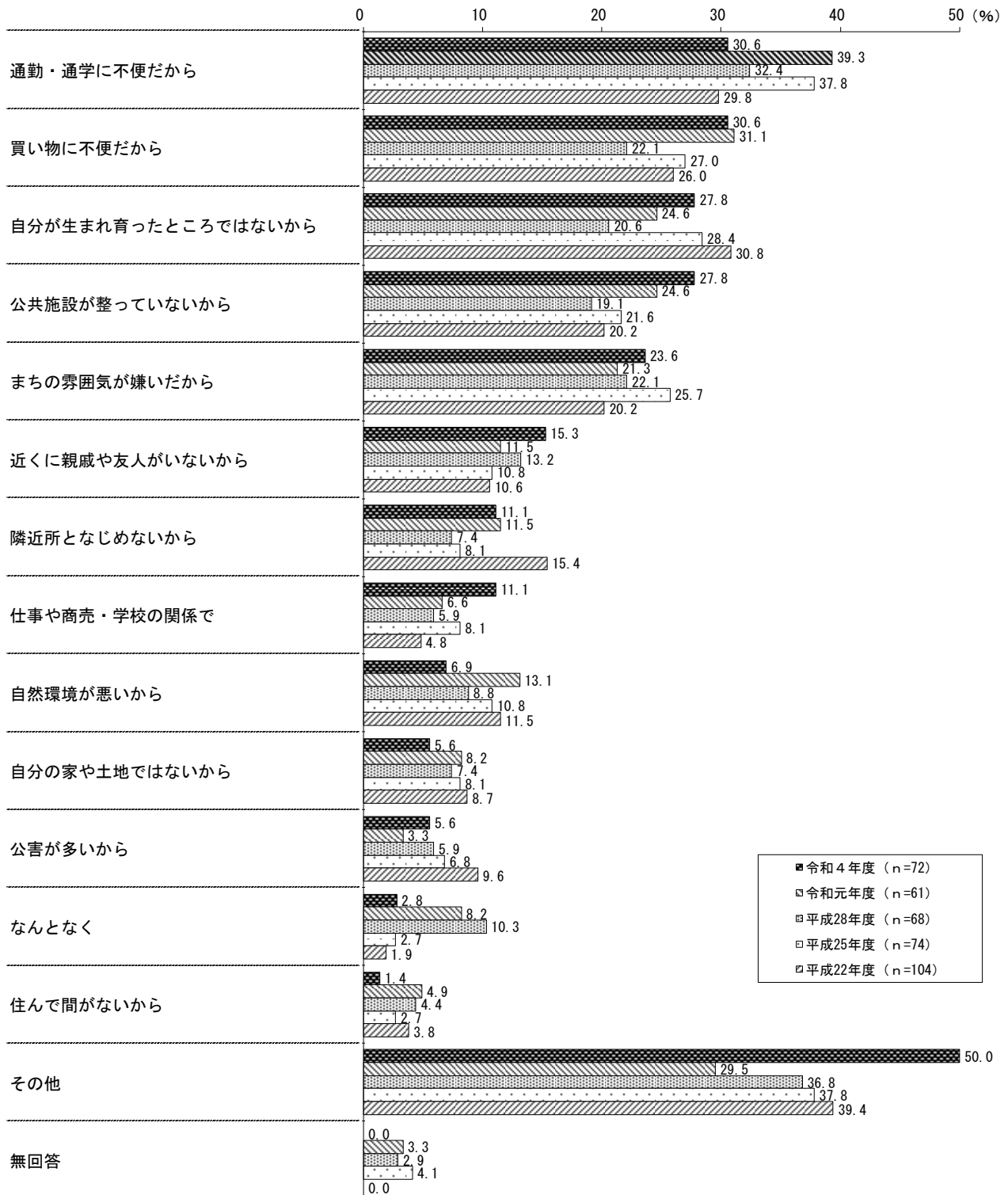
(3-2) 転出したい理由



相模原市に「住みたくないと思う」と答えた方に、どのような理由からかたずねたところ、「通勤・通学に不便だから」、「買い物に不便だから」(30.6%)が3割を超え最も高く、次いで、「自分が生まれ育ったところではないから」、「公共施設が整っていないから」(27.8%)、「まちの雰囲気が嫌いだから」(23.6%)と続いている。

<経年比較>

過去の調査結果と比較すると、「通勤・通学に不便だから」は令和元年度より8.7ポイント、「自然環境が悪いから」は令和元年度より6.2ポイント、それぞれ減少している。

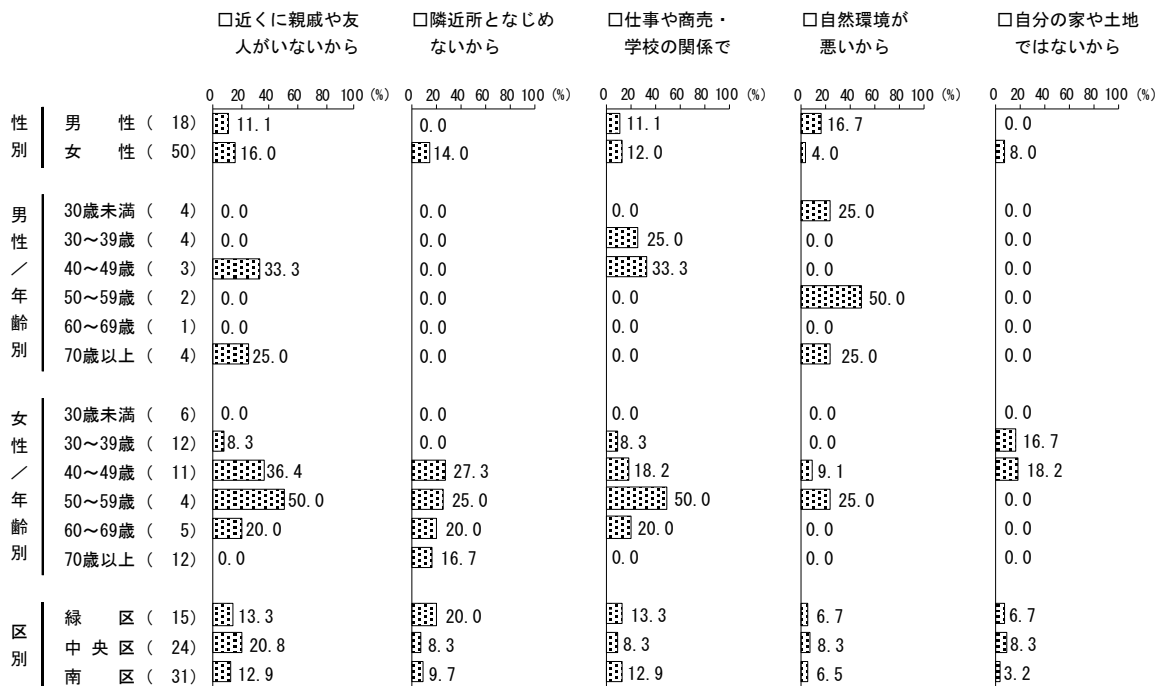
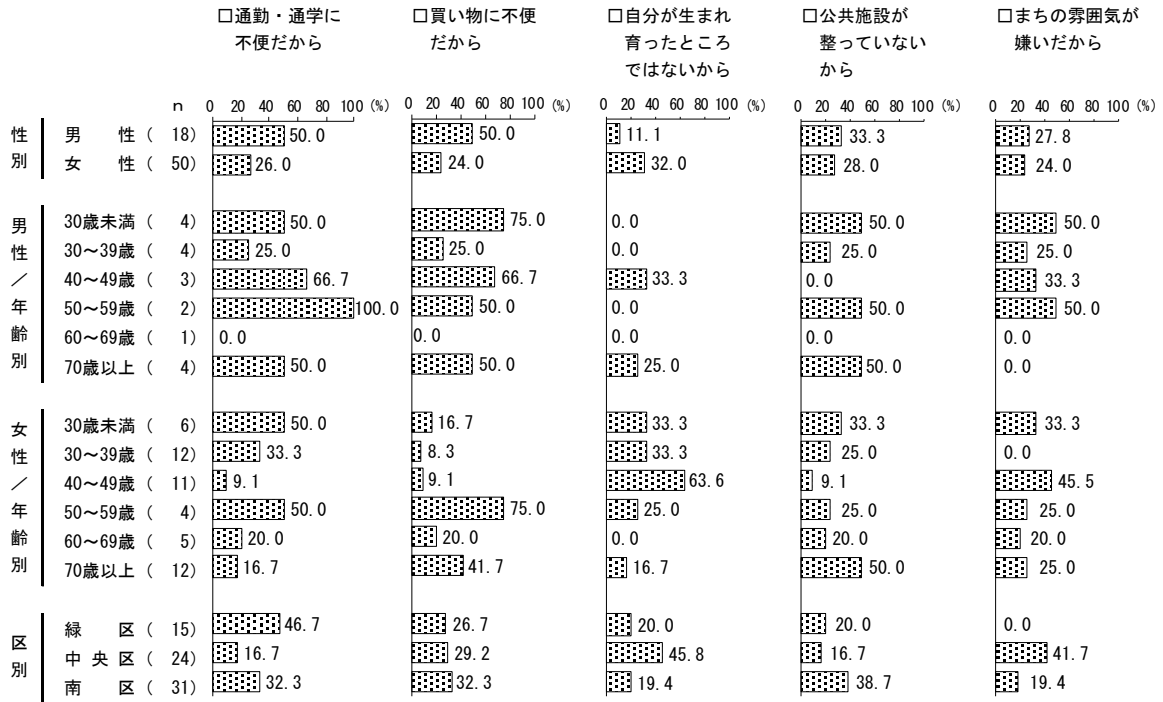


<性別・性／年齢別・区別結果> (上位10項目)

性別で見ると、「買い物に不便だから」で26.0ポイント、「通勤・通学に不便だから」で24.0ポイント、それぞれ男性が女性より高くなっている。一方、「自分が生まれ育ったところではないから」では、20.9ポイント、女性が男性より高くなっている。

性／年齢別は基数が少ないため、参考までに図示する。

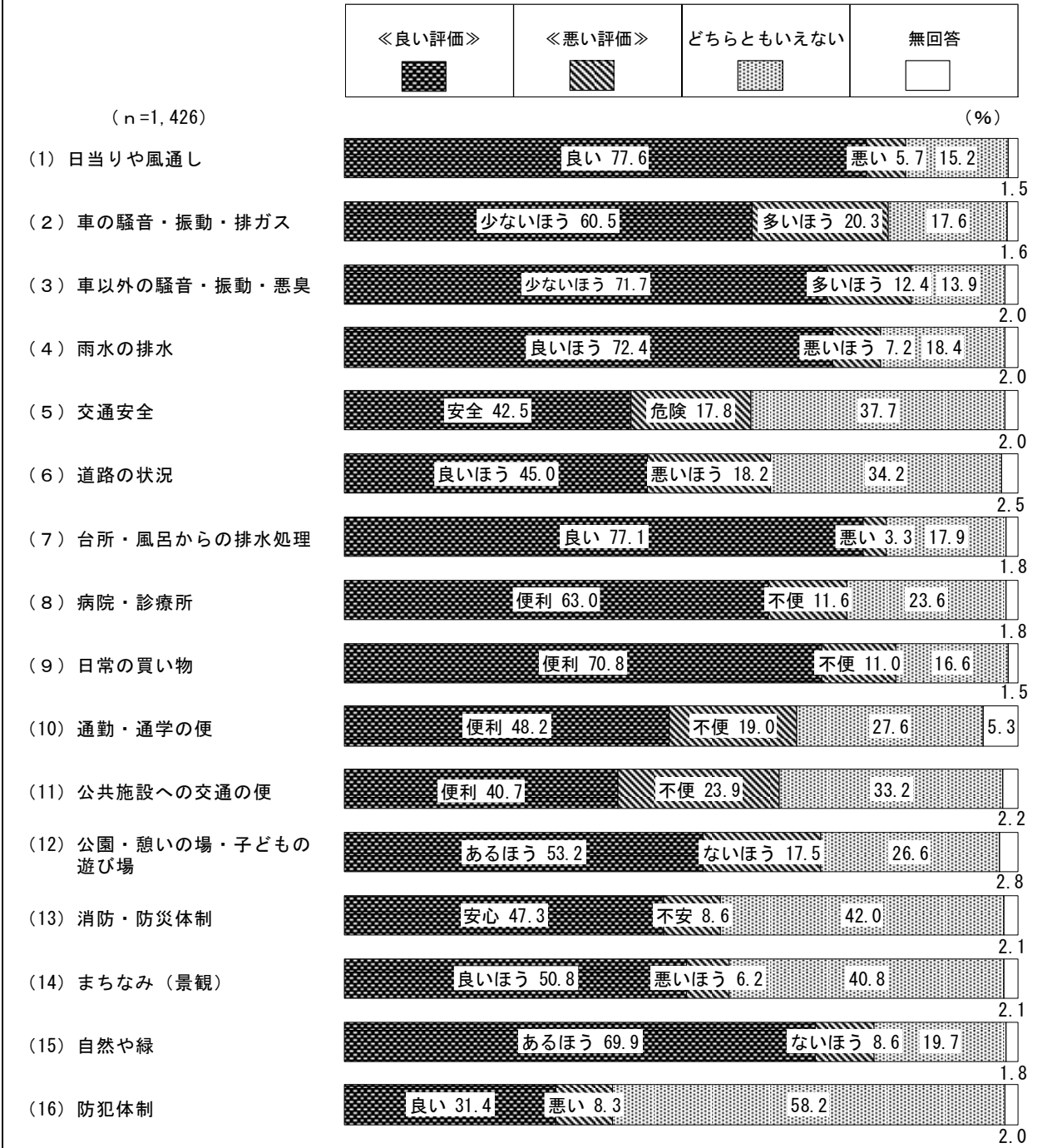
区別で見ると、「通勤・通学に不便だから」は緑区で、「自分が生まれ育ったところではないから」、「まちの雰囲気嫌いだから」は中央区でともに4割を超え、高くなっている。



(4) 生活環境の評価

問3 あなたは、お住まいの地域の生活環境について、日頃どのように感じていますか。

次の(1)から(16)までの項目それぞれについて、1から3までの中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)



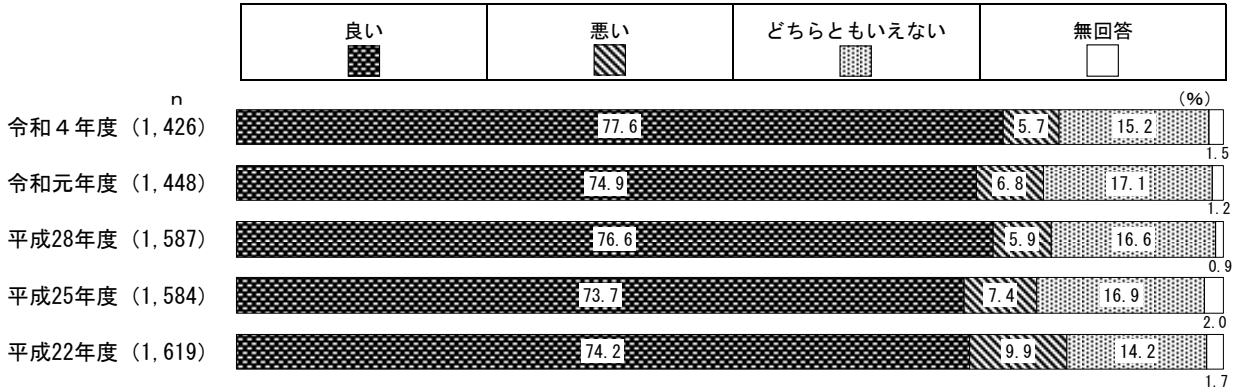
お住まいの地域の生活環境について、日頃どのように感じているか、16項目に分けて聞いたところ、《良い評価》は、(1) 日当たりや風通し (77.6%) が7割半ばを超え最も高く、次いで、(7) 台所・風呂からの排水処理 (77.1%)、(4) 雨水の排水 (72.4%)、(3) 車以外の騒音・振動・悪臭 (71.7%) と続いている。

一方、《悪い評価》は、(11) 公共施設への交通の便 (23.9%) が2割を超えてもっとも高く、次いで、(2) 車の騒音・振動・排ガス (20.3%)、(10) 通勤・通学の便 (19.0%) と続いている。

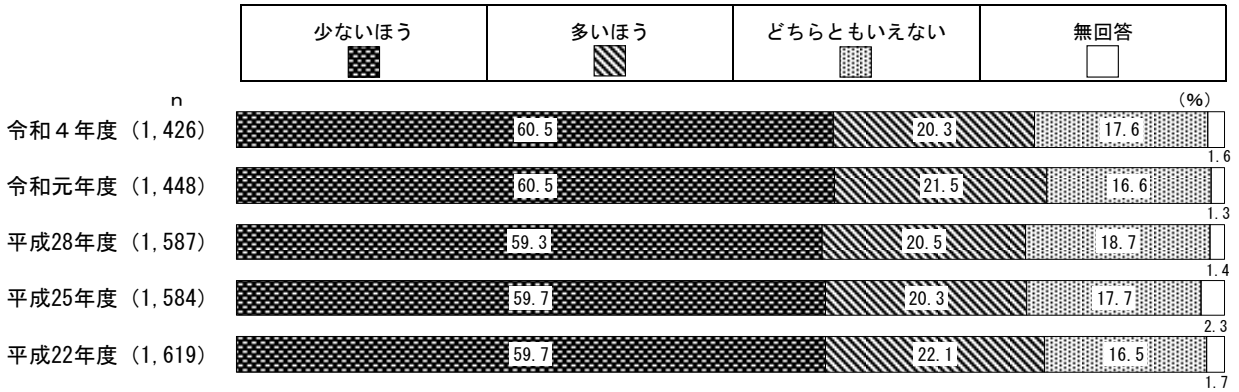
＜経年比較＞

過去の調査結果と比較すると、《良い評価》は令和元年度より、(5)交通安全、(13)消防・防災体制(6.2ポイント増加)、(16)防犯体制(5.8ポイント増加)など13項目で増加している。一方、《悪い評価》は、令和元年度より、(10)通勤・通学の便(1.5ポイント増加)と(3)車以外の騒音・振動・悪臭(0.8ポイント増加)で増加している。

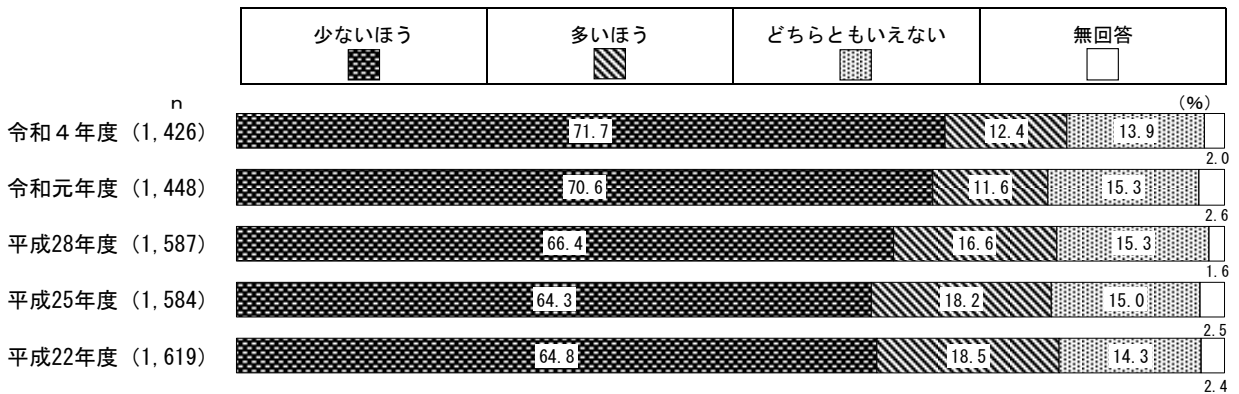
(1) 日当たりや風通し



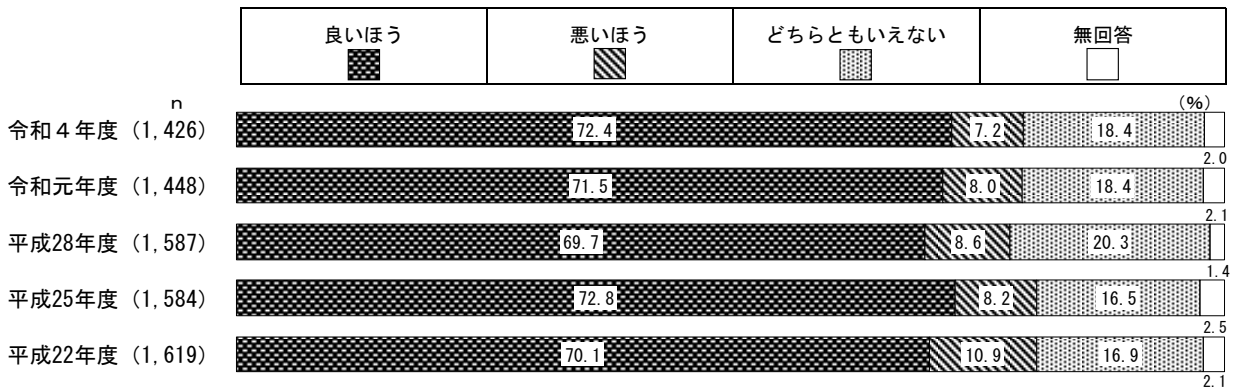
(2) 車の騒音・振動・排ガス



(3) 車以外の騒音・振動・悪臭

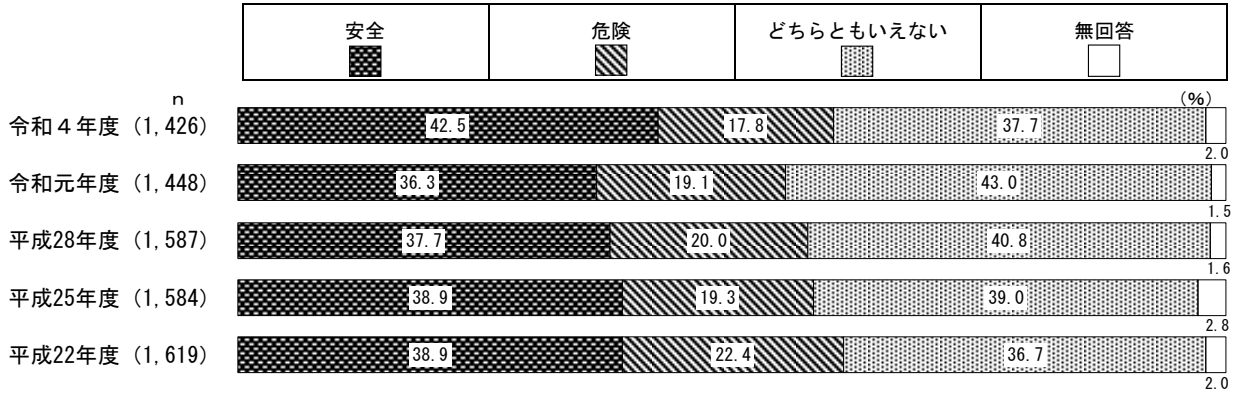


(4) 雨水の排水

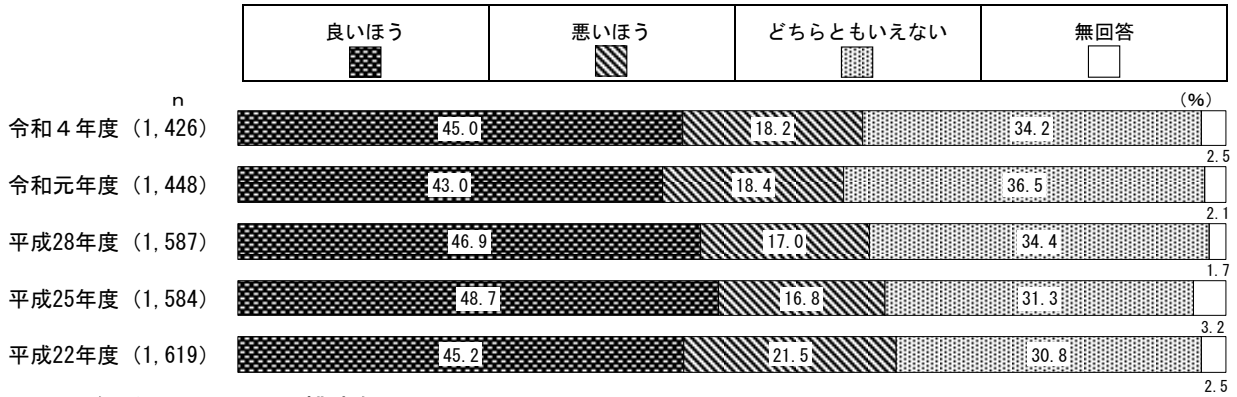




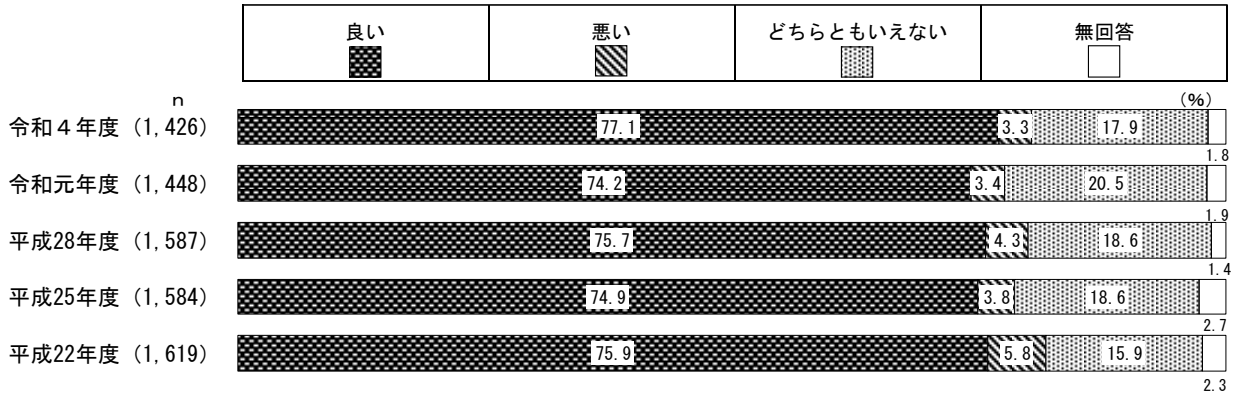
(5) 交通安全



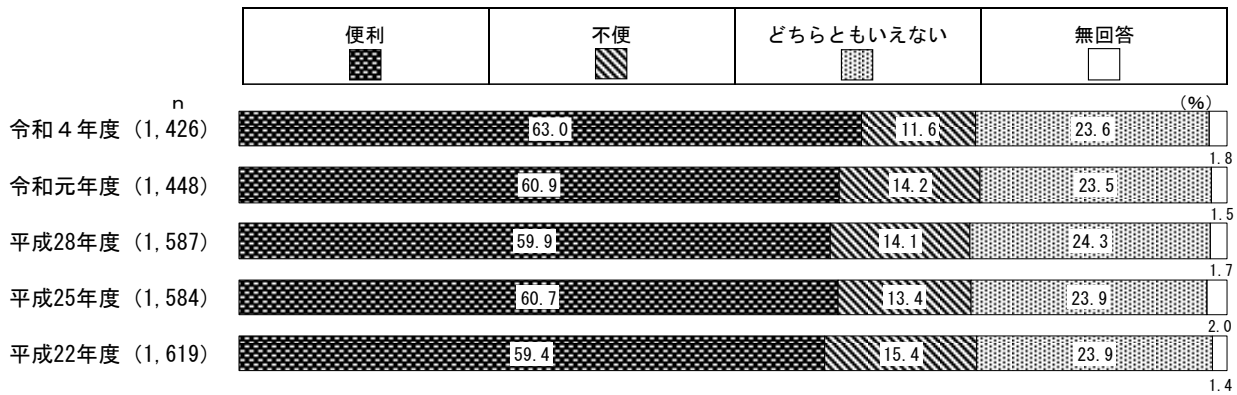
(6) 道路の状況



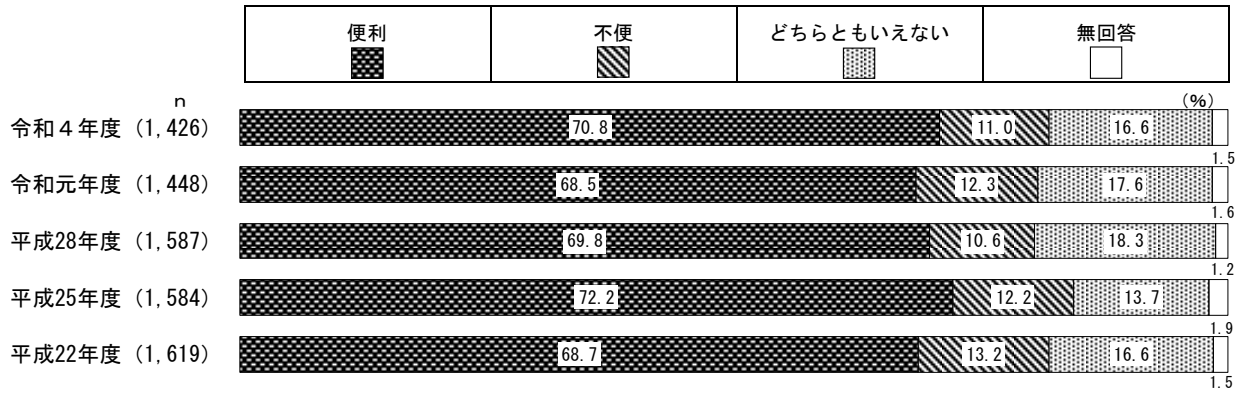
(7) 台所・風呂からの排水処理



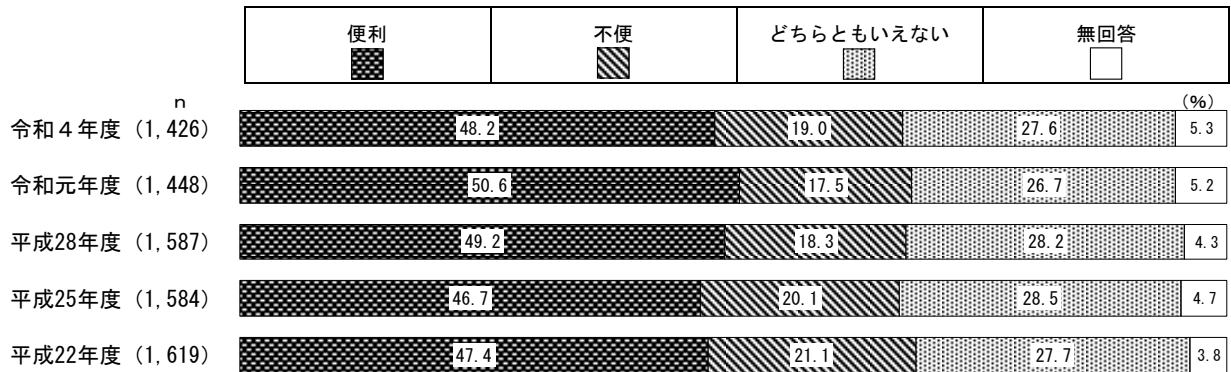
(8) 病院・診療所



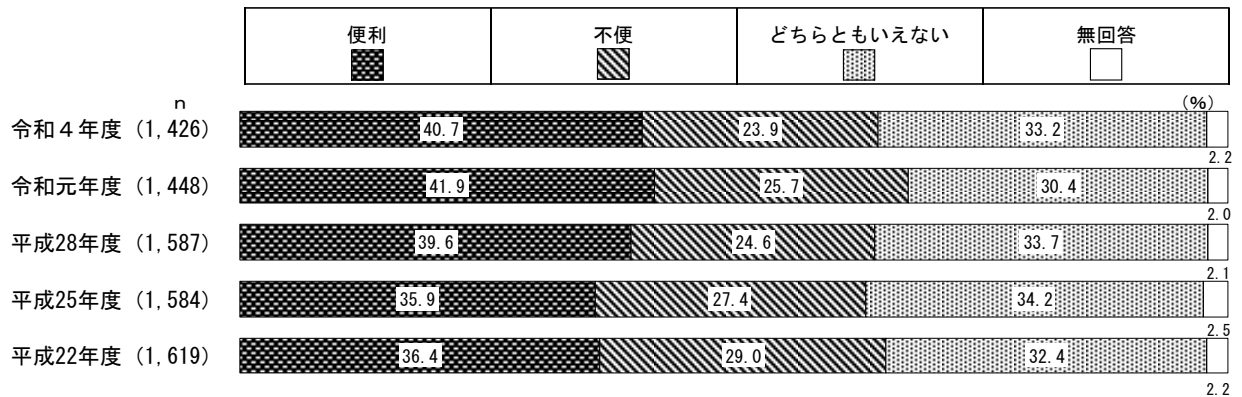
(9) 日常の買い物



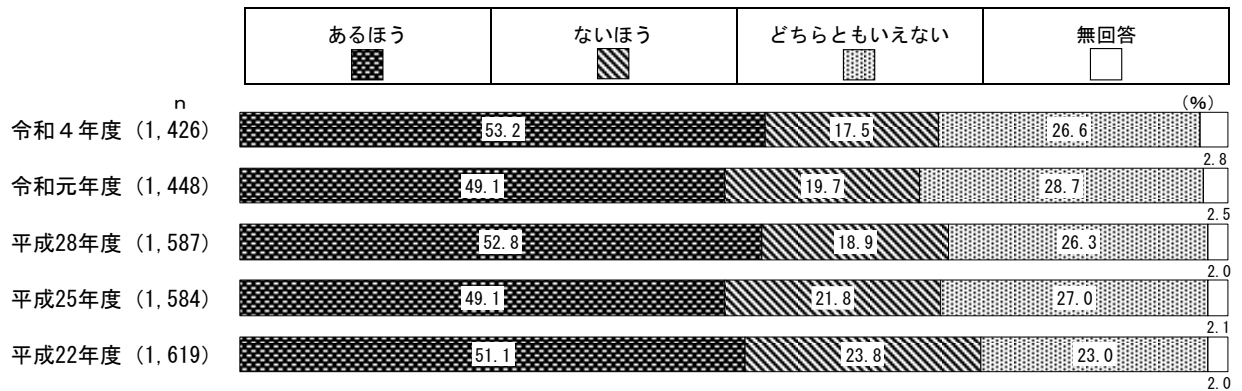
(10) 通勤・通学の便



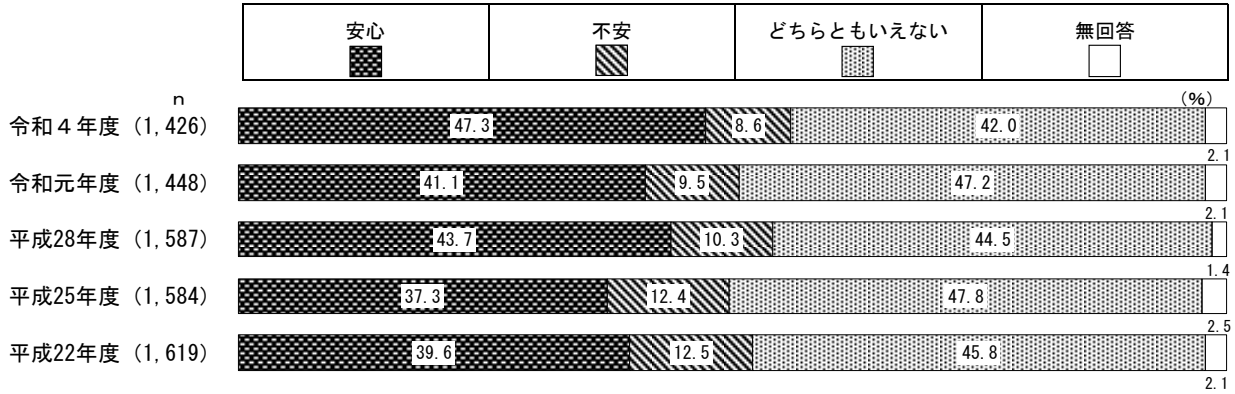
(11) 公共施設への交通の便



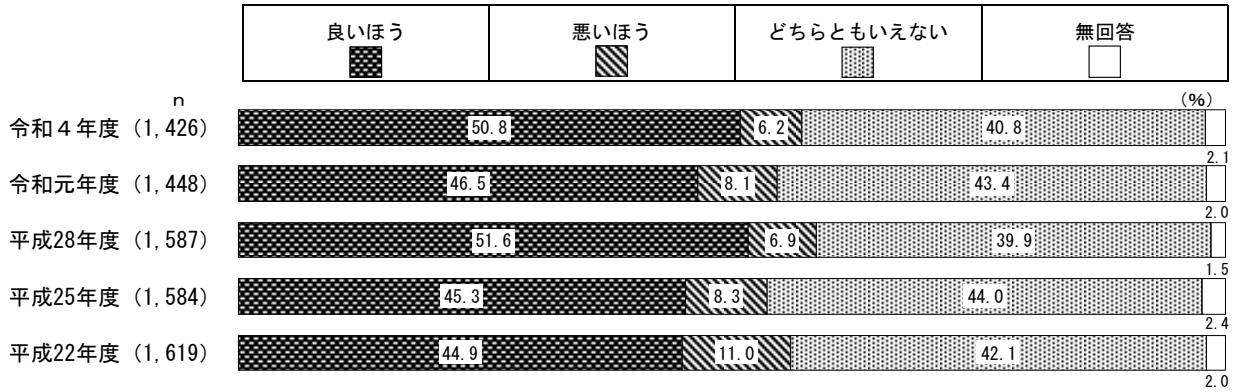
(12) 公園・憩いの場・子どもの遊び場



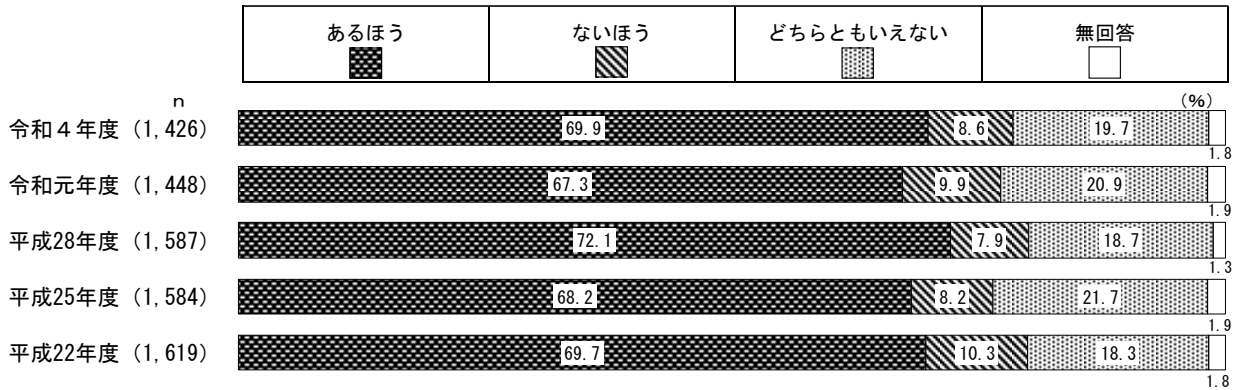
(13) 消防・防災体制



(14) まちなみ (景観)



(15) 自然や緑



(16) 防犯体制

